

---

# 熊本県立美術館年報 ■平成30年度

---

# は じ め に

熊本県立美術館の運営につきまして、日頃からご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。当館の施設概要や沿革、平成 30 年度の展覧会事業、美術品等の収集活動、教育普及活動などの概要をまとめましたので、ご高覧いただければ幸いに存じます。

昭和 51 年(1976 年)3 月 4 日に熊本県の芸術文化振興の拠点として開館した当館は、平成 28 年(2016 年)3 月に開館 40 周年を迎えました。しかし、それから 1 か月が過ぎた同年 4 月、一連の「平成 28 年熊本地震」が発生。当館も美術品等に少なからず被害が出ましたが、幸い美術館の建屋に大きな被害はなく、地震から 1 ヶ月半後には美術館を再開することができました。以後、現在にいたるまで展覧会の開催と並行しながら被災美術品の修復や施設の修繕、さらには地震で被災した熊本県内の文化財や美術品のレスキュー事業にも取り組んで参りました。

当館の基幹をなす収蔵コレクションの展示につきましては、「細川コレクション」と「美術館コレクション」の両分野で「特集展示」を開催しました。細川コレクション展では、第Ⅰ期「武家の装いー巴螺鈿鞍と新しい熊本の宝」、第Ⅱ期「二の丸小さきもの倶楽部」、第Ⅲ期「武蔵、熊本にきたる!」、第Ⅳ期「没後 150 年記念 横井小楠とその時代展」。美術館コレクション展では、「没後 50 年フジタとパリの画家たち」、「祝いと吉祥の美術」などで収蔵する名品を紹介しました。

特別展・企画展では、永青文庫展示室開設 10 周年を記念した「細川ガラシャ展」、「佐々木耕成展」、「藤城清治一光と影のメルヘン展」、「山本二三ー日本アニメーション美術の創造者展」、「松本零士展」の 5 本の展覧会を開催することができました。いずれの展覧会も、充実した企画内容となりました。

美術品の収集活動においては、熊本ゆかりの油彩画家・野田英夫作で、《夏の省線ホーム》を購入したのをはじめ、同《パリの街》、《ニューヨーク》、山中神風《説話図屏風》、佐々木耕成、山口長男などの作品をご寄贈いただき、収蔵品の一層の充実を図ることができました。

教育普及活動では、11 校で実施したスクールミュージアムをはじめ、特別展に関する記念講演会、ミュージアムセミナー、子ども美術館、実技講座などを幅広く実施することができました。調査研究活動としては、平成 20 年度から継続している永青文庫からの預かり美術品調査を引き続き実施し、平成 30 年度は大名調度類の調査報告書を刊行いたしました。

開館以来 40 年を越えて、古今東西の美術を網羅する「総合美術館」として社会と広く深く繋がり、さらに多彩な魅力ある美術館をめざして参ります。また、熊本地震の災禍を通じて浮き彫りになった美術館としての課題を共有し、震災の教訓を語り継ぐことも、私たちの重大な責務であることを忘れずに美術館運営に取り組んでいく所存です。皆様方の更なるご支援とご協力を心よりお願い申し上げます。

令和 2 年 3 月吉日

熊本県立美術館長 宮尾 千加子

目次
----

<b>I 沿革</b>	1
<b>II 施設・設備</b>	
■施設・設備の概要	5
<b>III 事業の概要</b>	
■平成30年度年間スケジュール	9
■展覧会記録	10
■浜田知明室	30
■装飾古墳室	32
■教育普及	33
<b>IV 資料</b>	
■観覧者状況及び事業報告	38
■収蔵品の概要	47
■購入・寄贈図書目録	56
■委員会等名簿	57
■その他	59

# I 沿革

昭和	43年	3月	25日	県議会において文化資料調査費予算 50 万円可決
〃	43年	5月	1日	「熊本県文化資料調査実施要項」制定
〃	44年	3月	3日	松本喜八氏兄弟から亡父（嘉平次氏）の遺志により美術館建設基金として1千万円寄付
〃	44年	7月	1日	「熊本県立美術館本館基金条例」交付 1億円の積み立て
〃				県議会において美術館建設調査費予算 100 万円可決
〃	44年	8月	6日	「熊本県立美術館建設促進協力会」発足
〃	45年	5月	10日	「昭和 44 年度熊本県立美術館建設調査報告書」作成
〃	45年	6月	2日	「熊本県立美術館建設準備委員会設置要項」制定
〃	45年	12月	8日	建設準備委員会より「美術館建設に関する答申書」の提出
〃	46年	3月	20日	「熊本県立美術館建設委員会」発足
〃				「熊本県立美術館建設準備室」設置
〃	46年	5月	17日	美術館建設委員会で美術館敷地を現在地に選定
〃	46年	9月	20日	建設委員会より「美術館収集に関する意見書」の提出
〃	46年	9月	30日	「装飾古墳調査報告書」作成
〃	47年	4月	1日	前川国男建築設計事務所に美術館設計委託
〃	47年	8月	31日	熊本城二の丸史跡調査完了
〃	47年	10月	31日	美術館基本設計完了
〃	48年	3月	31日	美術館実施設計完了
〃				美術館建設敷地の樹木調査完了
〃	48年	9月	17日	装飾古墳レプリカ制作委託
〃	48年	12月	8日	チブサン古墳石屋形模型製作委託
〃	49年	5月	17日	美術館建設着工
〃	50年	5月	24日	美術館定礎
〃	50年	7月	1日	「熊本県立美術館条例」公布
〃	50年	9月	14日	美術館本体工事完了
〃	51年	1月	31日	美術館外構工事完了
〃	51年	2月	24日	美術館工事落成
〃	51年	3月	4日	美術館開館
〃	52年	1月	24日	美術館別館（多目的室棟）着工
〃	52年	9月	10日	別館（多目的室棟）竣工
〃	54年	6月	28日	「熊本県美術品取得基金条例」公布
〃	60年	4月	1日	美術館条例（観覧料）の改正
〃	61年	3月	25日	美術館屋外排水設備改修工事完了
〃	61年	6月	4日	第 35 回全国美術館会議総会開催
平成	元年	4月	1日	美術館条例（観覧料等）の改正



平成 2 年 4 月 1 日	美術館条例（観覧料等）の改正
〃 3 年 10 月 1 日	美術館分館着工
〃 4 年 5 月	野田壁画室工事完了
〃 4 年 10 月 1 日	美術館条例（使用料）の改正
〃 4 年 10 月 9 日	美術館分館工事完了
〃 4 年 10 月 20 日	美術館分館開館
〃 4 年 12 月 19 日	収蔵庫増設工事着工
〃 4 年 12 月 27 日	やさしいまちづくり事業（エレベーター増設等）工事着工
〃 5 年 4 月 1 日	美術館条例（観覧料）の改正
〃 5 年 10 月 15 日	やさしいまちづくり事業（エレベーター増設等）工事完了
〃 6 年 1 月 3 日	第 4、第 5 収蔵庫増設工事完了
〃 8 年 3 月	ハイビジョンミュージアムシステム設置
〃 8 年 4 月 1 日	美術館条例（使用料）の改正
〃 8 年 11 月	美術館本館空調設備、展示室改修工事着工
〃 9 年 8 月	美術館本館空調設備、展示室改修工事完了
〃 10 年 4 月 1 日	美術館条例（観覧料）の改正
〃 11 年 4 月 1 日	美術館条例（使用料）の改正
〃 11 年 6 月 28 日	障害者の社会的活動への参加の促進のための関係条例の整備に関する条例公布（観覧料減免）
〃 11 年 8 月 18 日	美術館利用規則（休館日等）の改正
〃 11 年 10 月 23 日	天皇皇后両陛下下行幸啓
〃 12 年 6 月 21 日	「熊本県立美術館振興計画策定委員会」設置
〃 13 年 3 月	開館 25 周年記念「蒙古襲来絵詞展」開催
〃 13 年 4 月 1 日	美術館条例（使用料）の改正
〃 14 年 1 月 16 日	「熊本県立美術館振興計画策定委員会」より館長に建議
〃 14 年 1 月 31 日	館長から美術館協議会に諮問 美術館振興計画として決定「ミュージアムプランくまもと 21 ～会館 25 年 100 の提案～」
〃 14 年 2 月	美術館本館屋上防水工事着工
〃 14 年 3 月	美術館本館屋上防水工事完了
〃 16 年 2 月 2 日	美術館本館渡り廊下、屋外喫茶フロアー通路スロープ化工事着工
〃 16 年 3 月 17 日	美術館本館渡り廊下、屋外喫茶フロアー通路スロープ化工事完了
〃 17 年 12 月 8 日	非常用自家発電機更新工事着工
〃 18 年 3 月 17 日	非常用自家発電機更新工事完了
〃 18 年 8 月	開館 30 周年記念「エコール・ド・パリ展」開催
〃 18 年 10 月	開館 30 周年記念「熊本県立美術館名品展—精華—」開催
〃 18 年 11 月 1 日	美術館利用規則（開館時間）の改正
〃 18 年 11 月 10 日	美術館本館 第 6 回 J I A（日本建築家協会）25 年賞大賞受賞

平成 19 年 1 月 8 日	美術館分館展示室 1、2、3 クロス塗装工事完了
〃 19 年 1 月 30 日	美術館本館 1、2 階展覧会場クロス張り替え工事着工
〃 19 年 3 月 30 日	美術館本館 1、2 階展覧会場クロス張り替え工事完了
〃 19 年 6 月 25 日	永青文庫展示室整備建築工事着工
〃 19 年 10 月 3 日	美術館条例（使用料、観覧料等）の改正（H20. 4. 25 施行）
〃 19 年 11 月 26 日	美術館本館搬入用エレベーター改修工事着工
〃 19 年 12 月 18 日	美術館本館講堂床・電灯設備改修工事着工
〃 20 年 2 月 29 日	永青文庫展示室整備建築工事完了
〃 20 年 3 月 14 日	美術館本館講堂床・電灯設備改修工事完了
〃 20 年 3 月 17 日	美術館本館搬入用エレベーター改修工事完了
〃 20 年 4 月 25 日	細川コレクション永青文庫展示室開館
〃	開館記念展「細川歴代の文と武と美」開催 （第 1 部、第 2 部：4. 25～12. 24）
〃 21 年 9 月 17 日	美術館本館冷凍機オーバーホール工事着工
〃 21 年 10 月 9 日	美術館条例（指定管理者制度の導入）の改正（H22. 4. 1 施行）
〃 21 年 10 月 24 日	美術館本館冷凍機オーバーホール工事完了
〃 21 年 12 月 24 日	美術館本館氷蓄熱槽ほか空調設備整備工事着工
〃 21 年 12 月 30 日	美術館本館氷蓄熱槽ほか空調設備整備工事完了
〃 22 年 4 月 1 日	美術館分館 指定管理者制度導入
〃 22 年 4 月 28 日	美術館条例（観覧料の減免）の改正
〃 22 年 12 月 22 日	美術館条例（利用の許可の基準等）の改正（H23. 4. 1 施工）
〃 23 年 8 月 18 日	美術館永青文庫展示室拡充改修工事着工
〃 24 年 2 月 28 日	美術館トイレ改修工事着工
〃 24 年 3 月 6 日	美術館条例（協議会）の改正（H24. 4. 1 施工）
〃 24 年 3 月 28 日	美術館トイレ改修工事完了
〃 24 年 3 月 30 日	美術館永青文庫展示室拡充改修工事着工
〃 24 年 10 月 31 日	美術館本館非常灯用直流電源装置修繕工事着工
〃 25 年 1 月 15 日	美術館本館非常灯用直流電源装置修繕工事完了
〃 25 年 3 月 15 日	美術館条例施工規則（使用量の返還）の改正（H25. 4. 1 施工）
〃 25 年 12 月 27 日	美術館本館事務室屋上改修工事着工
〃 26 年 3 月 14 日	美術館本館事務室屋上改修工事完了
〃 26 年 3 月 24 日	美術館条例（観覧料、使用量）改正（H26. 4. 1）
〃 26 年 5 月 21 日	美術館本館空調熱源ユニット修繕工事着工
〃 26 年 7 月 9 日	美術館本館空調熱源ユニット修繕工事完了
〃 27 年 1 月 13 日	美術館本館エレベータ改修工事着工
〃 27 年 3 月 9 日	美術館本館エレベータ改修工事完了
〃 27 年 10 月 29 日	美術館本館大規模改修工事（I 期）着工
〃 28 年 3 月 18 日	美術館本館大規模改修工事（I 期）完了
〃 28 年 4 月 8 日	開館 40 周年記念「大熊本県立美術館展」開催

平成 28 年 4 月 14 日	平成 28 年熊本地震（前震）発生
〃 28 年 4 月 15 日	美術品等の保護と施設設備の安全確認のため、当面臨時休館とする
〃 28 年 4 月 16 日	平成 28 年熊本地震（本震）が発生
〃 28 年 5 月 28 日	安全確認の目処がつき、再開館へ
〃 28 年 10 月 11 日	美術館本館大規模改修工事（Ⅱ期）着工
〃 28 年 10 月 31 日	熊本地震により被災した美術品等の修復作業開始
〃 29 年 3 月 13 日	美術館本館大規模改修工事（Ⅱ期）完了
〃 29 年 7 月 15 日	開館 40 周年「大熊本県立美術館展リターンズ」開催
〃 29 年 8 月 7 日	美術館本館大規模改修工事（Ⅲ期）着工
〃 30 年 3 月 23 日	美術館本館大規模改修工事（Ⅲ期）完了

## II 施設・設備

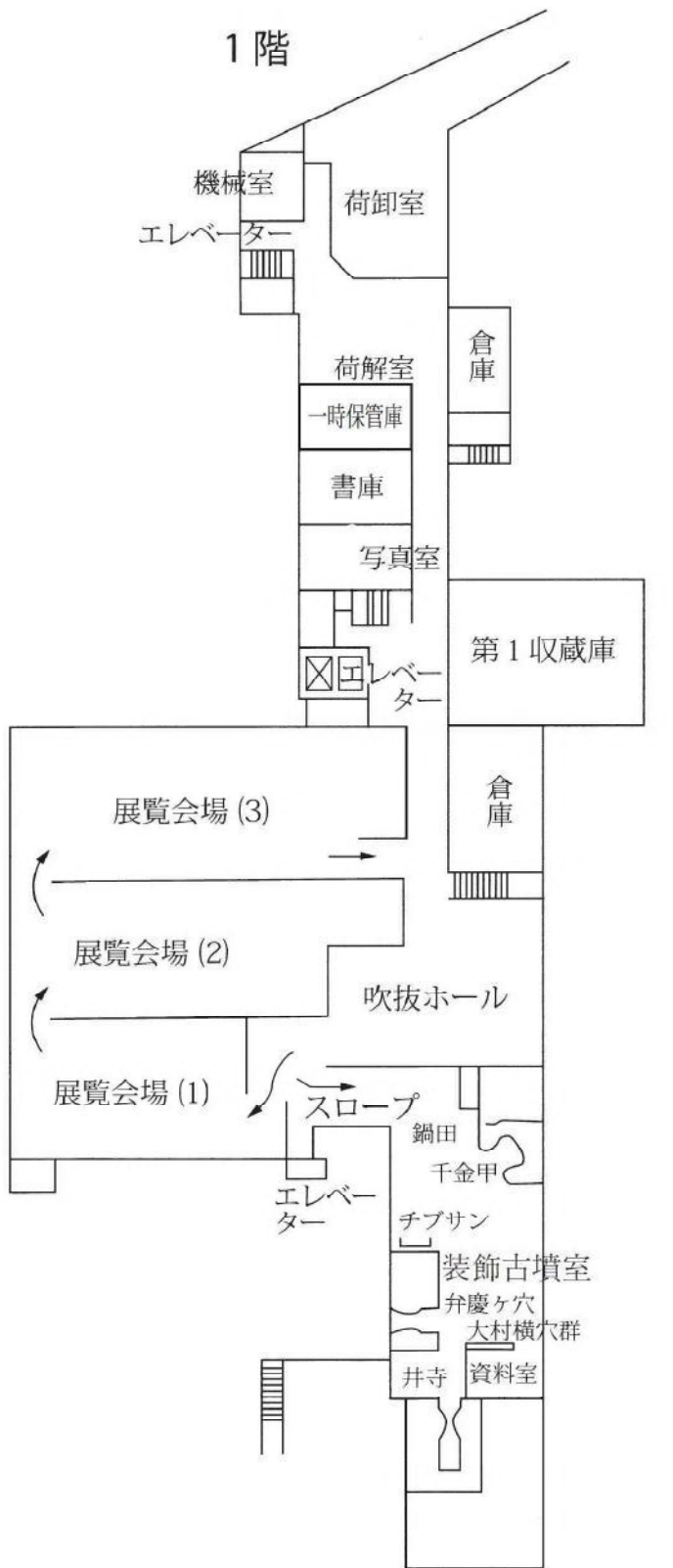
### ■施設・設備の概要

		本館	分館
所在地		熊本市中央区二の丸2番	熊本市中央区千葉城町2番18号
設計監理		(株)前川国男建築設計事務所	トレース&ラペニア・大和設計共同体
施業者	建築	(株)間組「酒井建設工業(株)」	浅沼組・坂口建設建設工事共同企業体
	電気	(株)九州電気工事「村上電気工事(株)」	太陽電気(株)
	空調	(株)大阪電気暖房「協電機工(株)」	上田商会・三祐建設建設工事共同企業体
	衛生	(株)日栄工業「(株)西山商会」	広域設備工業(株)
工期		昭和49年5月17日～昭和51年1月31日 「平成4年12月19日～平成6年1月3日」(増設)	平成3年10月1日～平成4年10月9日
面積	敷地面積	14,200.00㎡	4,071.43㎡
	建築面積	3,793.65㎡	1,797.15㎡
	延床面積	7,942.85㎡	5,084.62㎡
構造		鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造
		地下1階、地上3階	地下1階、地上4階、塔屋1階
仕上	外壁	珧炉器質打込タイル	石張り(会津石)
	屋根	軽量コンクリート、保護モルタル	銅版張り
設備	電気設備	減設協議電力 277KW、自家発電装置	契約電力460KW
	空調設備	空気熱源熱回収型スクルーヒートポンプ 空気熱源氷蓄熱スクルーヒートポンプ 空調15系統	空冷式冷凍機、空調機7、空調機16
	衛生設備	上下水道使用、H29年撤去	上下水道使用、受水槽35㎡
	昇降設備	エレベーター3基(乗用1、荷物用2) ダムウェーター1基	エレベーター2基(乗用1、荷物用1) エスカレーター3基
	その他	屋内消火栓、炭酸ガス消火設備 ハロンガス消火設備	屋内消火栓、ハロンガス消火設備

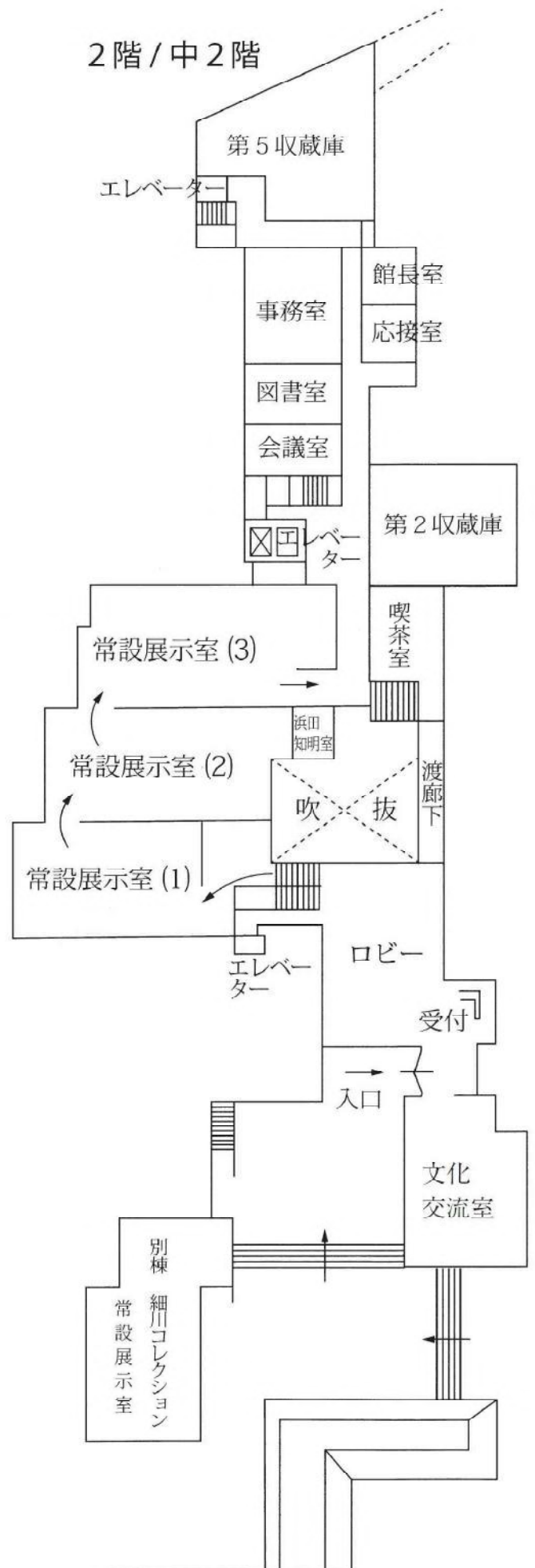
部門別面積

本 館				分 館			
部 門	室 名	室数	面積(m <sup>2</sup> )	部 門	室 名	室数	面積(m <sup>2</sup> )
展 示 室	装 飾 古 墳 室	1	339.37	展 示 室	展 示 室	3	933.47
	常 設 展 示 室	3	902.98		ギャラリー	1	158.20
	展 覧 会 場	3	1072.64		彫 刻 広 場	1	56.00
	小 計		2314.99		小 計		1147.67
収 蔵 室	収 蔵 庫	5	1062.51	収 蔵 室	収 蔵 室	1	149.42
利 用 施 設	講 堂	1	176.56	利 用 施 設	フ ロ ン ト ホ ー ル	1	62.30
	文 化 交 流 室	1	361.69		図 書 室	1	71.44
	吹 抜 ホ ー ル	1	361.04		A V 室	1	79.20
	喫 茶 室	1	88.47		喫 茶 室 休 憩 室	1	154.21
	そ の 他	1	43.41		ロ ッ カ ー 室	1	11.56
	小 計		1031.17		救 護 室 / 授 乳 室	1	9.24
別棟 細川コレクション 常設展示室	展 示 室	1	160.20	利 用 施 設	売 店	1	20.00
	そ の 他	1	186.60		小 計		407.95
	小 計		346.80		事 務 室 ・ 他		177.99
事 務 管 理	事 務 室 ・ 他		2434.51	事 務 管 理	機 械 室	4	338.80
	機 械 室	2	752.87		倉 庫 そ の 他		2862.79
	小 計		3187.38		小 計		3379.58
	計		7942.85		計		5084.62

美術館本館見取図

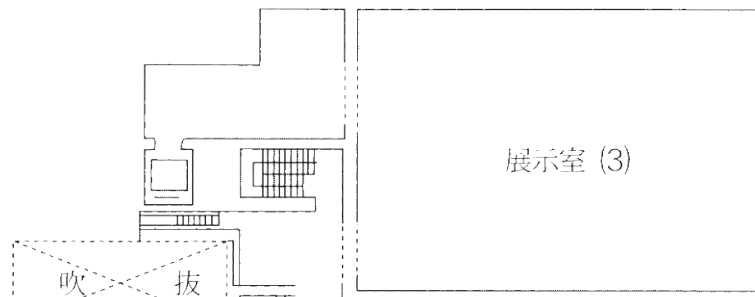


(地下・3階 略)

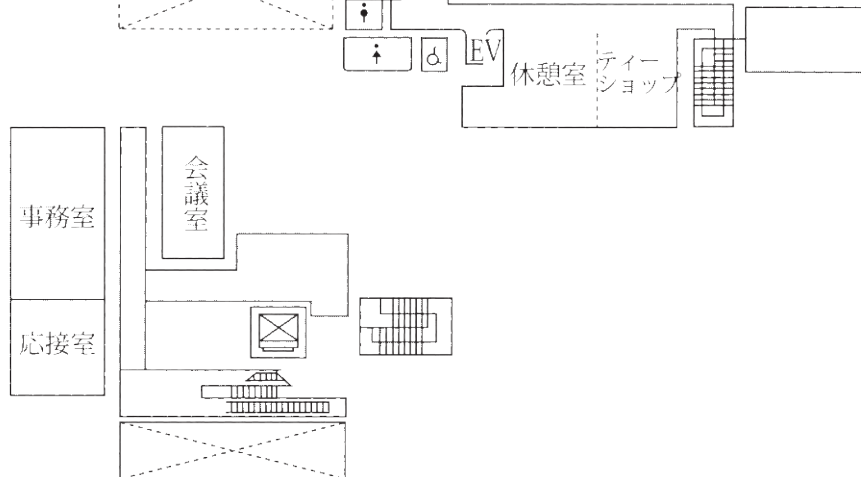


美術館分館見取図

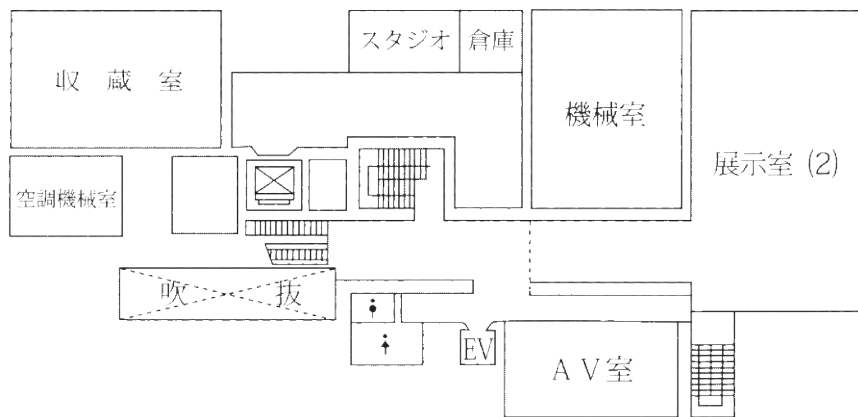
4階



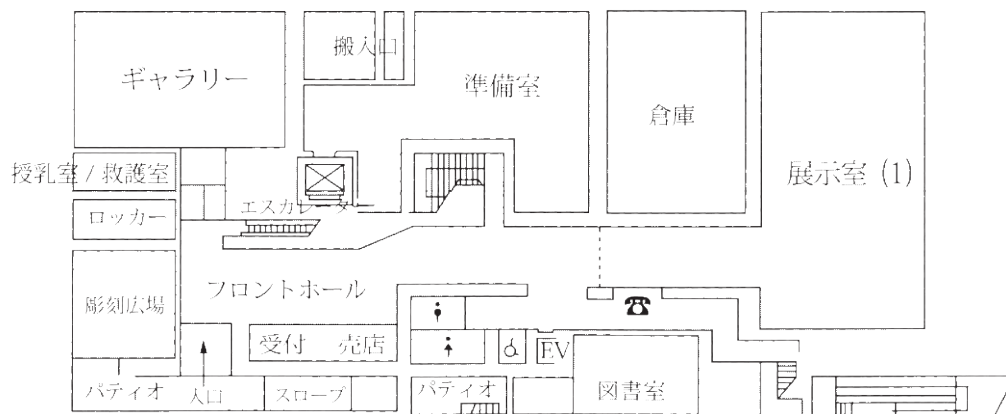
3階



2階



1階







# 第 I 期 細川コレクション

## 〈特集〉 武家の装い

ともえらでんくら

### — 巴螺鈿鞍と新しい熊本の宝

## 〈常設〉 細川家の歴史と美

会 期	平成 30 年 4 月 27 日(金)~7 月 15 日(日)
開催日数	66 日間
会 場	別棟常設展示室、本館 2 階展示室(第 1 室)
主 催	熊本県立美術館、熊本日新聞社、RKK 熊本放送
特別協力	公益財団法人永青文庫
協 力	肥後銀行
観 覧 料	共通券:一般 420(300)円 大学生 250(190)円 別棟:一般 210(160)円 大学生 130(100)円 本館 2 階:一般 270(190)円 大学生 160(120)円 高校生以下無料 ( )内は団体 20 名以上の料金
観覧者数	6,687 名(本館 2 階:4,013 名 別棟:2,674 名)
担 当 者	才藤あずさ



### 趣旨とその成果

鎌倉時代に制作された螺鈿鞍の名品で、国の重要文化財に指定されている《<sup>ともえらでんくら</sup>巴螺鈿鞍》が、当館に寄贈されたことを記念し、巴螺鈿鞍とともに武家の装いの世界を紹介する展覧会を開催した。《巴螺鈿鞍》は、薄い夜光貝を巴文形に切り透かして貼りつめた螺鈿鞍で、全国でも十数点しか確認されていない鎌倉時代の螺鈿鞍として大変貴重な作品である。

本展では、巴螺鈿鞍のほか、「蒙古襲来」における肥後の御家人・竹崎季長の奮戦を描いた《蒙古襲来絵詞(模本)》や、南北朝時代の大鎧を写した《白糸褰取大鎧》、桃山時代の蒔絵鞍などを展示し、中世から近世にかけての武家の装いの美をご覧いただいた。また、昨年度に収蔵された熊本の新しい宝である堅山南風《争魚》、伊藤若冲《鶏図》などの新収蔵品もあわせて紹介した。

また、常設では「細川家の歴史と美」を開催。幕末維新时期に活躍した細川家の当主である斉護、韶邦、護久所用の甲冑や書画などを展示した他、藩主夫人が用いた華やかな衣裳や化粧道具を展示した。

### 関連行事

- |  |   |
|--|---|
| ① 6 月 9 日(土)ミュージアムセミナー<br>演題:武家の装い<br>講師:主任学芸員 才藤あずさ<br>聴講者:44 名 | ② 6 月 9 日(土)ミュージアムセミナー<br>やってみよう染め物体験<br>参加者:39 名 |
|--|---|

# 第 I 期 美術館コレクション 〈特集〉 藤田嗣治没後 50 年 フジタとパリの画家たち 〈常設〉 熊本の美術

会 期	平成 30 年 4 月 27 日(金)~7 月 15 日(日)
開催日数	66 日間
会 場	本館 2 階展示室(第 2 室・3 室)
主 催	熊本県立美術館
観 覧 料	共通券:一般 420(300)円 大学生 250(190)円 別棟:一般 210(160)円 大学生 130(100)円 本館 2 階:一般 270(190)円 大学生 160(120)円 高校生以下無料 ( )内は団体 20 名以上の料金
観覧者数	4,013 人(本館 2 階のみ)
担 当 者	林田龍太(2 室)、岡田真梨子(3 室)

## 趣旨とその成果

2018 年は藤田嗣治(レオナール・フジタ)の没後 50 周年。当館のフジタ・コレクションを中心にエコール・ド・パリの画家や海老原喜之助らの名品など、フランスと日本の近代絵画の粋を熊本との関わりも交えて紹介した。

また、常設では「熊本の美術」を開催。別棟展示室における新収蔵品《争魚》の展示に合わせ、《霜月頃》をはじめとする堅山南風作品を展示。さらに南風の師・高橋廣湖や、兄弟子・山中神風の作品を通して、熊本の近代日本画の系譜を紹介した。

## 関連行事

- ① 5 月 26 日(土)ミュージアムセミナー  
演題:フジタとパリの画家たち  
講師:学芸員 岡田真梨子  
聴講者:42 名
- ② 5 月 27 日(日)子ども美術館  
「レオナール・フジタってどんな人?」  
参加者:9 名

# メルヘン 藤城清治の世界 光と影の楽園展 2018

会 期	平成 30 年 4 月 27 日(金)～6 月 2 日(土)
開催日数	34 日間
会 場	本館 1 階展示室
主 催	TKU テレビ熊本、熊本県立美術館(名義共催)
後 援	熊本県、熊本市、熊本県教育委員会、 熊本市教育委員会、熊本日日新聞社、 NHK 熊本放送局
協 力	藤城清治事務所、一般財団法人藤城清治美術館 那須高原、HORIPRO、株式会社アートプリントジャ パン、株式会社アートカフェ
観 覧 料	一般:1,400(1,200)円 高・大学生 1,200(1,000)円 小・中学生 700(500)円 未就学児無料 ( )内は前売・団体 20 名以上の料金
観覧者数	27,012 名
担 当 者	石丸美穂子、有木芳隆



## 趣旨とその成果

日本を代表する影絵作家・藤城清治氏の、独自の芸術世界を紹介する展覧会。世界でも類を見ない影絵の手法により、ファンタジーや童話の世界を描き出してきた藤城氏の作品が、影絵の劇場をイメージした工夫を凝らした展示構成により、物語性豊かに紹介された。藤城氏は 94 歳を超えた今なお、ますます意欲的な制作活動を続けておられ、少女や動物、こびとなどがにぎやかに躍動する画面には、生きとしいけるものすべてへの愛があふれている。本展では、震災後の熊本城などをモチーフに復興への祈りを込めた作品も展示された。生きる喜びや祈りに彩られた光と影の総合芸術は、多くの来館者に好評を得た。

## 関連行事

4 月 28 日(土)、5 月 4 日(金・祝)、5 月 19 日(土)、5 月 20 日(日)、6 月 2 日(土)

藤城清治サイン会

参加者:各回 200 名程度

# 第Ⅱ期 細川コレクション

## 〈特集〉 親子でみる美術展

### 二の丸小さきもの倶楽部

会 期	平成 30 年 7 月 28 日(土)～9 月 24 日(月・祝)
開催日数	53 日間
会 場	別棟常設展示室
主 催	熊本県立美術館、熊本日日新聞社、RKK 熊本放送
特別協力	公益財団法人永青文庫
協 力	肥後銀行
観 覧 料	本館 2 階との共通券:一般 1,100 円 学生 800 円 別棟:一般 210(160)円 大学生 130(100)円 高校生以下無料 ( )内は団体 20 名以上の料金



観覧者数	7,275 名(別棟のみ)
担 当 者	石丸美穂子、才藤あずさ

#### 趣旨とその成果

「親子でみる美術展」は、子どもにわかりやすい展示構成で、美術品や歴史資料に、そして美術館そのものに親しんでもらうことを目的とした展覧会である。平成 7 年から 21 年にかけて企画され、事業編成等に伴いしばらく休止したが、開館 40 周年を迎えるにあたり、世代をこえて、親子で美術や美術館に親しむ機会をより一層設けるため、平成 27 年度から再開した。

第 3 弾となる本展では、お殿様の武器武具、お姫様の雛飾り、その他様々な道具から「小さなもの」に着目し紹介。クイズや刀装具の紹介パネルを設置するなど、楽しめる展示構成を工夫することにより、当時の人々の細部に至るまでのこだわり、作品そのものの美しさ、愛らしさ、かっこよさといった魅力を、幅広い年代の方に感じていただける機会となった。

#### 関連行事

7 月 29 日(日)子ども美術館

「バックヤード探検～準備中の展示室ものぞいちゃおう～」

参加者:35 名

# 山本二三展

## 日本アニメーション美術の創造者

会 期	平成 30 年 7 月 28 日(土)~9 月 17 日(月・祝)
開催日数	47 日間
会 場	本館 1 階展示室
主 催	熊本県立美術館、熊本日新聞社
後 援	熊本県文化協会、熊本県美術家連盟、熊本県市町村教育委員会連絡協議会、熊本県図画工作・美術教育研究会、熊本県高等学校教育研究会美術・工芸部会、熊本県高等学校文化連盟、熊本県博物館連絡協議会 RKK、TKU、KKT、KAB、エフエム熊本、FM791
協 力	絵映舎
企画協力	神戸新聞社
観 覧 料	一般:1,000(800)円 大学生 700(500)円 小中校生 300(200)円 未就学児無料 ( )内は前売・団体 20 名以上の料金
観覧者数	21,573 名
担 当 者	有木芳隆、岡田真梨子



### 趣旨とその成果

本展覧会は、「日本のアニメーション美術の創始者」と称される山本二三氏のアニメーション背景画などを、初めて熊本で公開するものであった。山本二三氏は、1953(昭和 28)年、五島列島の福江島(現 長崎県五島市)の生まれ。同氏は、「未来少年コナン」(1978 年)、「天空の城ラピュタ」(1986 年)、「火垂るの墓」(1988 年)、「もののけ姫」(1997 年)、「時をかける少女」(2006 年)など数々の名作アニメーションで美術監督をつとめて高い評価をうけ、現在もなお精力的に活躍している。

背景画等のアニメーション美術は、アニメーション全体のなかで重要な部分を担うものであるが、作品のなかで調和することを求められ、キャラクターを背後で支える存在である。本展は、あえてキャラクターを入れないことで、背景美術の果たす役割に光をあてた。本展では、アニメーション作品に用いられた背景画、準備段階で描かれるイメージボードなど 220 点以上を、作者みずからの選択によって初期から最近作まで展示した。入念な取材と構想、精密な描写によって表現された世界を間近で体験する機会となった。

### 関連行事

- ① 7 月 28 日(土)トークショー&サイン会  
講 師:山本二三氏  
参加者:130 人(事前申込)

② 7月29日(日)制作デモンストレーション

講師:山本二三氏

参加者:70人(事前申込)

③ 8月23日(木)二三の日ミニコンサート

出演:KOMSカルテット

参加者:130人



# 永青文庫展示室開設 10 周年記念特別展 細川ガラシャ

会 期	平成 30 年 8 月 4 日(土)~9 月 24 日(月・祝)
開催日数	47 日間
会 場	本館 2 階展示室
主 催	熊本県立美術館、公益財団法人永青文庫、熊本大学 永青文庫研究センター、熊本日日新聞社、RKK 熊本放送
後 援	熊本県文化協会、熊本県美術家連盟、熊本県市町村教育 委員会連絡協議会、熊本県図画工作・美術教育研究会、 熊本県高等学校教育研究会美術・工芸部会、熊本県高等 学校文化連盟、熊本県博物館連絡協議会、 NHK 熊本放送局、エフエム熊本、FM791
特別協賛	肥後銀行
協 賛	お菓子の香梅、金剛株式会社
観 覧 料	別棟展示室との共通券:一般 1,100 円 学生 800 円 本館 2 階:一般:1,000(800)円 大学生 700(500)円 高校生以下無料 ( )内は前売・団体 20 名以上の料金



観覧者数	21,660 名
担 当 者	山田貴司、宮川聖子

## 趣旨とその成果

平成 20 年 4 月に開設された「細川コレクション永青文庫展示室」の 10 周年を記念し、開催した特別展。近世大名としてのいしずえを築いた細川忠興に嫁いだ明智光秀の娘、細川ガラシャにスポットをあてた。ガラシャは、本能寺の変により不遇の日々を送ったものの、キリスト教へ改宗して熱心に信仰し、関ヶ原合戦の直前に悲劇的な最期を迎えた女性である。ただ、どういった生涯を送ったのか、ゆかりの品がどれほど残っているのかなどは、じつは意外に知られていなかった。また、他の大名夫人と比較すると、どうしてこれほど高い知名度を有しているのか、という疑問も残されていた。本展は、こういった「謎」に挑むものでもあった。

会場には、40 ヶ所を超える所蔵者からお借りしたゆかりの品々や、彼女を題材とした物語、絵画作品を一堂に展示した。100 点を超える展示作品の展観を通じて、ガラシャが生き残った戦国乱世の様相と華やかな桃山文化に触れつつ、彼女が送った激動の生涯に思いを馳せる機会を創出するとともに、その歴史的イメージが時代を追うごとに変遷していく様子もあわせてご覧いただいた。

会場づくりや広報にあたっては、これまでにない取り組みも実施した。ひとつは、人気の「刀剣乱舞オンライン」とのコラボレーション。忠興の愛刀《歌仙兼定》のキャラクターパネルを会場外に設置するとともに、会場内の《歌仙兼定》についても、撮影と SNS への画像掲載を許可した。また、会場での案内標記の充実やグッズ販促のためにガラシャのイラストを制作し、会場外には撮影用のパネル(ポップ)も設置した。

このような展覧会の意図、構成、会場づくり、広報等の効果もあつてか、会期中には、予想以上の観覧者にご来館いただきました。観覧者アンケートや SNS、会場でのやり取りの中で確認した限りだが、展示内容にも御満足いただきましたようだ。

#### 関連行事

① 6月23日(土)ミュージアムセミナー

演題:ガラシャイメージの形成と展開

講師:学芸課参事 山田貴司

聴講者:87名

② 7月29日(日)子ども美術館

「バックヤード探検～準備中の展示室ものぞいちゃおう～」

参加者:35名

③ 8月11日(土)子ども美術館

「ガラシャとロザリオ～ロザリオづくり体験～」

講師:内坪井修道院 大久保須美子氏

参加者:91名

④ 8月19日(日)熊本オペラ芸術協会 細川ガラシャ展記念コンサート

音楽監督・指揮:平成音楽大学理事長・学長 出田敬三氏

出演:熊本オペラ芸術協会、平成音楽大学 女声合唱団「平成カンマーコール」

参加者:600人以上

⑤ 8月25日(土)特別講演会

演題:イエズス会史料からみた細川ガラシャ

講師:青山学院大学准教授 安廷苑氏

聴講者:176名

⑥ 9月8日(土)特別講演会

演題:新・明智光秀論

講師:熊本大学永青文庫研究センター教授 稲葉継陽氏

聴講者:351名



# 細川護熙 美の世界 薬師寺奉納障壁画展

会 期	平成 30 年 10 月 6 日(土)~11 月 18 日(日)
開催日数	38 日間
会 場	別棟常設展示室
主 催	熊本日日新聞社
共 催	熊本県立美術館、公益財団法人永青文庫
後 援	熊本県文化協会
協 力	一般社団法人 九曜アートプロジェクト
協 賛	鶴屋百貨店、出水神社
観 覧 料	一般 700(500)円 大学生 500(400)円 高校生以下無料( )内は前売・団体 20 名以上の料金
観覧者数	3,451 名(別棟のみ)
担 当 者	有木芳隆



## 趣旨とその成果

薬師寺は奈良の地に<sup>いらか</sup>甍を連ねる法相宗大本山で、天武天皇が皇后(後の持統天皇)の病氣平癒を祈って西暦 680 年に発願した白鳳時代を代表する寺院である。1300 年以上の歴史をもつ寺内には、天平 2 年(730)に建立された国宝東塔や国宝銅造薬師三尊像など、白鳳・天平時代を代表する国宝が数多く残されている。

2012 年秋、公益財団法人永青文庫理事長・細川護熙氏に「薬師寺慈恩殿」の障壁画制作という大プロジェクトが依頼された。薬師寺法相宗の祖は唐時代の名僧玄奘三蔵<sup>げんじょうさんぞう</sup>で、境内にはその遺徳をたたえた玄奘三蔵院伽藍<sup>がらん</sup>があり、ここには洋画家平山郁夫が精魂を込めた大作「大唐西域壁画」が安置されている。この三蔵院伽藍に寄り添うように建っているのが玄奘の高弟・慈恩大師の「慈恩殿」であり、細川護熙氏が障壁画制作を依頼された場所の重要性がよくわかる。

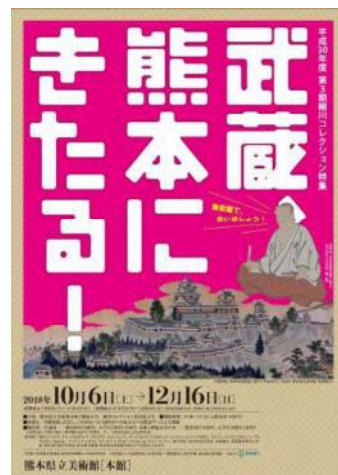
同氏が約 7 年をかけて描き上げる全 66 面(114 枚)の障壁画は、2019 年に入ると設置工事が始まる予定。2019 年 9 月に予定されている奉納式典を前に、この壮大なプロジェクトの一部となる北面 14 面(22 枚)を当館の細川コレクション常設展示室にてご覧いただけることとなった。併せて本展では、同氏の陶芸作品のなかから精選した茶碗と、心和む信楽童子像を合わせた 4 作品(全て初公開)を展示した。本展は、造形作家細川護熙氏の芸術世界を観覧いただける絶好の機会になった。

# 第Ⅲ期 細川コレクション

## 〈特集〉 武蔵、熊本にきたる！

## 〈常設〉 細川家ゆかりの近世絵画

会 期	平成 30 年 10 月 6 日(土)～12 月 16 日(日) ※別棟は 11 月 27 日(火)～12 月 16 日(日)
開催日数	63 日間 ※別棟は 18 日間
会 場	別棟常設展示室、本館 2 階展示室
主 催	熊本県立美術館、熊本日日新聞社、RKK 熊本放送
特別協力	公益財団法人永青文庫、岡山県立美術館
協 力	肥後銀行
観 覧 料	共通券:一般 420(300)円 大学生 250(190)円 別棟:一般 210(160)円 大学生 130(100)円 本館 2 階:一般 270(190)円 大学生 160(120)円 高校生以下無料 ( )内は団体 20 名以上の料金
観覧者数	5,838 名(本館 2 階:5,251 名 別棟:587 名)
担 当 者	山田貴司(本館 2 階)、宮川聖子(別棟)



### 趣旨とその成果

剣豪として有名な宮本武蔵は、寛永 17 年(1640)に熊本を訪れ、晩年をここで過ごした。この間には、剣術修行や指南のみならず、書画にもいそしんだとされる。本展では、永青文庫所蔵の武蔵関連作品に加え、松井文庫に伝来した作品も一堂に展示し、書画にもたしなんだ武蔵の晩年、そして当時の熊本にスポットをあてた。また、岡山県立美術館の武蔵コレクションも特別展示。選りすぐりの武蔵作品が熊本に勢ぞろいする、またとない機会となった。

また、常設では「細川家ゆかりの近世絵画」を開催。細川コレクションの中から、宮本武蔵とほぼ同時代に活躍した御用絵師・矢野三郎兵衛の作品を中心に、江戸時代に活躍した細川家の御用絵師の作品を展示した。

### 関連行事

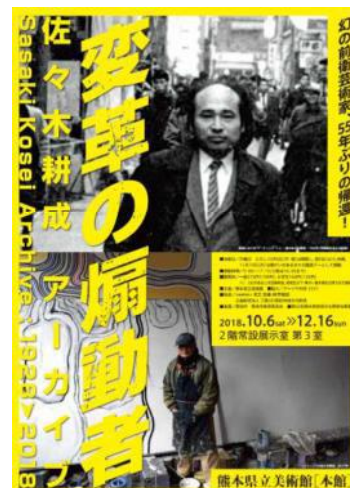
12 月 9 日(日) 子ども美術館  
「展示室スタンプラリー」  
参加者:9 名

# 第Ⅲ期 美術館コレクション

## 〈企画〉 変革の煽動者 佐々木耕成アーカイブ

## 〈常設〉 熊本の仏教美術と歴史

会 期	平成 30 年 10 月 6 日(土)～12 月 16 日(日)
開催日数	66 日間
会 場	本館 2 階展示室(第 2・3 室)
主 催	熊本県立美術館
特別協力	公益財団法人永青文庫
協 力	肥後銀行
観 覧 料	共通券:一般 420(300)円 大学生 250(190)円 別棟:一般 210(160)円 大学生 130(100)円 本館 2 階:一般 270(190)円 大学生 160(120)円 高校生以下無料 ( )内は団体 20 名以上の料金
観覧者数	5,251 名(本館 2 階のみ)
担 当 者	林田龍太(本館 2 階 3 室)、萬納恵介(本館 2 階 2 室)



### 趣旨とその成果

1960年代、前衛美術グループ〈ジャックの会〉の中心人物として活動し、昨年4月に群馬で逝去した画家・佐々木耕成。本展はこの知られざる熊本出身画家の軌跡をたどる展覧会として開催した。抽象表現主義的絵画から画業をスタートさせ、〈ジャックの会〉では「作品を売る」企画や街頭でのパフォーマンスなどを試みた佐々木だが、当時の作品は本人の手によって処分されていた。調査の結果見出されたのは、ごく少数の初期作品と当時の記録写真や資料、そして晩年に制作された大型の絵画作品群であった。

これまで当館では、1960年代の美術を系統立てて紹介したことはなかった。そのため本展では、60年代佐々木の活動を重点的に紹介すべく、展示室には当時の記録写真パネルや資料類を展示した。一方、晩年の絵画の大半はロビーに展示した。これは、佐々木が〈ジャックの会〉当時の活動を「企画そのものがアートになると思っていた」とする一方、晩年の絵画については「これらは美術ではない。自分が感じた自然の在り方を自己満足のために描いているだけ」と述べていたことにちなむ。

ただし、この展示構成に関しては「まるで資料館だ」といった否定的な意見をいくつか頂いた。しかしその反面、「熊本県美でこんな展覧会を見ることができるとは思わなかった。今後も期待しています」との嬉しい言葉を頂くこともあった。また会期末には、同分野を研究する学芸員や研究者らの来館が多数あった。なお本展図録が、美術館連絡協議会が主催する「2018年美連協大賞」において、優秀論文賞(自主展部門)を受賞したことを付記しておきたい。

常設「熊本の仏教美術と歴史」では、美術館寄託の仏教美術作品のほとんどを展示することで、熊本の仏教美術入門と位置づけ、奈良時代から江戸時代までの多岐にわたる名品を紹介した。

例えば《木造十一面観音菩薩立像》(熊本市報恩寺所蔵)は、2 度に渡って宋(中国)に渡り、緑川の架橋など熊本に大きな足跡を残した曹洞宗の高僧、寒巖義尹が関与して制作された仏像。像内からは寒巖義尹が納入した十一面観音を描いた仏画が見つかった。また、《木造男神坐像》は、上益城郡の六嘉神社に伝わった神像群の 1 体で、閻魔を思わせる冠と威厳に満ちた顔つきが特徴的な神像。

会場監視員から聞いたところによれば、来館者が観覧に長時間をかけていたとの話もあり、常設展ながら、多くの方に好評をいただけたようである。

#### 関連行事

① 10 月 20 日(土)ミュージアムセミナー

演 題:前衛美術とアニメーション

講 師:学芸課参事 林田龍太

聴講者:29 名

② 10 月 21 日(日)子ども美術館

「気になる素材で作ってみよう!」

参加者:38 名

③ 11 月 24 日(土)ミュージアムセミナー

演 題:熊本中世の仏像

講 師:学芸員 萬納恵介

参加者:33 名

# 漫画界のレジェンド 松本零士展

会 期	平成 30 年 10 月 27 日(土)~12 月 24 日(月・祝)
開催日数	52 日間
会 場	本館 1 階展示室
主 催	TKU テレビ熊本、熊本県立美術館(名義共催)
後 援	熊本県、熊本市、熊本県教育委員会、 熊本市教育委員会
協 力	零時社、アートスペース、青幻舎プロモーション
観 覧 料	一般・大学生:1,200(1,000)円 中学・高校生 800(700)円 小学生 500(400)円 未就学児無料 ( )内は前売・団体 20 名以上の料金
観覧者数	8,024 名
担 当 者	才藤あずさ



## 趣旨とその成果

SF 漫画界の巨匠、松本零士(1938~)は、テクノロジーが進化した未来の世界を舞台に、壮大なファンタジーを描き続けている。漫画「宇宙戦艦ヤマト」「宇宙海賊キャプテンハーロック」「銀河鉄道999」など数多くの名作を発表するとともに、アニメ制作にも携わり、1970年代半ばから80年代にかけてアニメブームを巻き起こした。本展では、15歳でのデビュー以来、60年以上にわたる松本零士の創作の歩みを紹介。直筆の漫画原画をはじめ、執筆用の各種資料、アニメのセル画、立体模型などを通して、夢とロマンにあふれた松本零士の世界をご覧いただいた。

## 関連行事

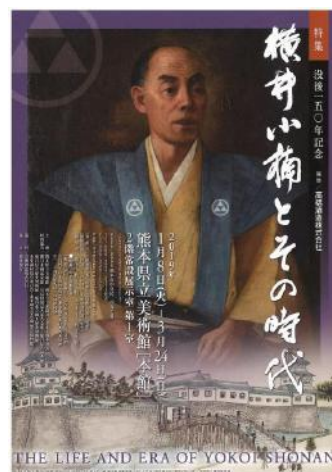
- ① 10月28日(日)松本零士氏サイン会・講演会  
講 師:松本零士氏  
参加者:100名
- ② 12月8日(土)松本零士展コンサート  
演奏者:熊本市消防音楽隊  
参加者:200名以上



# 第Ⅳ期 細川コレクション 〈特集〉 没後 150 年記念

## 横井小楠とその時代 〈常設〉 細川家の名刀と肥後鐔の美

会 期	平成 31 年 1 月 8 日(火)~3 月 24 日(日)
開催日数	66 日間
会 場	別棟常設展示室、本館 2 階展示室(第 1 室)
主 催	熊本県立美術館、熊本日新聞社、RKK 熊本放送
協 賛	高橋酒造株式会社
特別協力	横井小楠記念館、公益財団法人永青文庫、 福井県立図書館、福井県立歴史博物館、 福井市立郷土歴史博物館、山中湖村教育委員会・ 山中湖文学の森 徳富蘇峰館
協 力	肥後銀行
観 覧 料	共通券:一般 420(300)円 大学生 250(190)円 別棟:一般 210(160)円 大学生 130(100)円 本館 2 階:一般 270(190)円 大学生 160(120)円 高校生以下無料 ( )内は団体 20 名以上の料金
観覧者数	7,659 名(本館 2 階:5,106 名 別棟:2,553 名)
担 当 者	宮川聖子(本館 2 階 1 室)、才藤あずさ(別棟)



### 趣旨とその成果

熊本出身にして、幕末日本を代表する儒者であり、経世家である横井小楠を顕彰する展覧会であった。小楠は、江戸から明治へと激動する時代のうねりのなかで、近代国家建設に奔走するも、志半ばで暗殺されてしまう。しかし、小楠の死後、その思想は後進に引き継がれ、現代につながる明治国家の基礎となったといえるだろう。

小楠の生涯のうち、もっとも活躍した場は越前福井藩であり、その出会いは嘉永 2 年(1849)の三寺三作の来熊にはじまり、安政 5 年(1858)には同藩に招聘され、文久 3 年(1863)まで政治顧問として活躍した。その間、政事総裁職となった福井藩主・松平春嶽のもと、そのブレーンとして尽力し、幕政改革にも関係している。春嶽と小楠は、幕府のこれまでの「私」の政治に対し、「公」の政治を確立することを目指した。

本展は、平成 31 年に小楠が没後 150 年を迎えることを記念して、福井藩での活躍を中心に、その事績を紹介した。そのため、福井県立図書館・福井県立歴史博物館・福井市立郷土歴史博物館から特別協力を賜り、小楠ゆかりの史資料を福井県内より大規模にお借りすることができた。また、小楠の子孫の家に伝来した史資料は熊本・京都・福井の 3 カ所に分かれて保管されており、それらを一堂に集めるという試みも行った。加えて、最新の研究成果を踏まえ、これまでほとんど知られていなかった小楠の新出書簡等を展示した。

最終的に、開催時期が冬季であったが5,106名の方にご観覧いただき、図録の売り上げも好調であった。本展の開催により、郷土の偉人・横井小楠への関心が少しでも高まれば、幸いに思う。

また、常設では「細川家の名刀と肥後鐔の美」を開催。重要文化財《太刀 銘 守家造》(※展示期間:1/12～2/11)をはじめとした永青文庫所蔵の名刀や、かつて細川家に伝来した刀剣のほか、「延寿派」、「同田貫」といった肥後刀工たちが鍛えた刀剣、肥後拵を飾る「肥後鐔」などを紹介した。

#### 関連行事

- ① 1月12日(土)特別講演会  
演 題:横井小楠と維新変革  
講 師:大阪大学名誉教授 猪飼隆明氏  
聴講者:196名
  
- ② 2月23日(土)ミュージアムセミナー  
演 題:横井小楠とその時代  
講 師:主任学芸員 宮川聖子  
聴講者:113名

# 第Ⅳ期 美術館コレクション 〈企画〉 福武コレクション 西へ東へ。藤田嗣治と国吉康雄

会 期	平成 31 年 1 月 8 日(火)~3 月 24 日(日)
開催日数	66 日間
会 場	本館 2 階展示室(第 3 室)
主 催	熊本県立美術館、公益財団法人福武財団
特別協力	宇城市不知火美術館
協 力	研精堂印刷株式会社、ヤマトグローバルロジスティク スジャパン株式会社
観 覧 料	共通券:一般 420(300)円 大学生 250(190)円 本館 2 階:一般 270(190)円 大学生 160(120)円 高校生以下無料 ( )内は団体 20 名以上の料金
観覧者数	本館 2 階:5,106 名(本館 2 階 3 室)
担 当 者	岡田真梨子



## 趣旨とその成果

1920年代にそれぞれパリとニューヨークで活躍した日本人画家、藤田嗣治と国吉康雄の作品を、一般財団法人福武財団の協力のもと展示した。フランスとアメリカ、そして日本の美術を繋いだ、ルノワールやナビ派、エコール・ド・パリ、藤田、国吉らの足取りをたどる。20世紀美術の潮流を追うと同時に、藤田と国吉が美術の歴史上果たした役割の大きさを、戦争と美術の関わりも踏まえて展観した。

### 関連行事

- ① 1月8日(火)ギャラリーツアー  
講 師:岡山大学准教授 才士真司氏、学芸員 岡田真梨子  
聴講者:15名
- ② 2月23日(土)ギャラリーツアー  
講 師:岡山大学准教授 才士真司氏、学芸員 岡田真梨子  
聴講者:15名



③ 2月24日(日)ドキュメンタリー上映会&鼎談

演題:文化芸術資源による地域交流の可能性

講師:岡山大学准教授 才士真司氏、不知火美術館学芸員 浦田恭代氏、学芸課参事  
林田龍太

聴講者:45名

④ 3月10日(日)鼎談

演題:藤田と国吉・その絵画技法からみるふたりの生きた時代

講師:岡山大学准教授 才士真司氏、絵画保存修復家 岩井久子氏、学芸員 岡田真梨子

聴講者:23名

# 第Ⅳ期 美術館コレクション 〈特集〉 祝いと吉祥の美術

会 期	平成 31 年 1 月 8 日(火)～3 月 24 日(日)
開催日数	66 日間
会 場	本館 2 階展示室(第 2 室)
主 催	熊本県立美術館
観 覧 料	共通券:一般 420(300)円 大学生 250(190)円 本館 2 階:一般 270(190)円 大学生 160(120)円 高校生以下無料 ( )内は団体 20 名以上の料金
観覧者数	本館 2 階:5,106 名(本館 2 階 2 室)
担 当 者	山田貴司



## 趣旨とその成果

平成 31 年のお正月は、平成最後のお正月。この記念すべき新年を迎えるにあたり、新春の美術館コレクション特集では、めでたづくしの展示「祝いと吉祥の美術」を企画した。むかしから人々は美しい花や鳥、神々しい山野の風景に吉祥の意味を見出し、その図柄をモチーフとする縁起ものを飾ったり、幸福を呼び込む神さまを描き込んだ絵画や工芸品を愛でることで、新春を祝い、幸福を願ってきた。会場には、幸福を呼び込む七福神を描いた絵画や、めでたい兆しの象徴である松竹梅や鶴亀の文様、富士山などをデザインした絵画や工芸品を展示。新春にふさわしく、縁起ものが醸し出す華やかでめでたい世界を満喫いただいた。

### 関連行事

1 月 26 日(土)ミュージアムセミナー

演 題:仏像の銘文が教えてくれるもの

講 師:学芸課長 有木芳隆

聴講者:28 名

# 平成30年度 生の芸術 Art Brut 展覧会 vol.4

会 期 平成 30 年 10 月 2 日(火)～10月 14 日(日)  
会 場 本館講堂  
主 催 アール・ブリュット(生の芸術)パートナーズ熊本  
共 催 熊本県立美術館、社会福祉法人愛隣園  
入館者数 2,056 人  
担 当 者 石丸美穂子、岡田真梨子



## 趣旨とその効果

本展は、「誰に教わったわけでもない。熊本が育んだ魂の表現」をテーマに、障がいのある人たちの個性あふれる作品群を紹介。国内外で高い評価を受けている作家から初出展作家まで、熊本県在住の作家の作品が展示された。また、当館が所蔵するジャン・デュビュッフエ(「Art Brut (生の芸術)」の提唱者)の版画作品をパネル展示で紹介した。作家にとって県立美術館での展示は、作品を通じた交流の場であり、認められる喜びが創作意欲や自立へとつながっている。



# 平成 30 年度スクールミュージアム

主 催 熊本県立美術館  
 展 示 物 浜田知明の作品(銅版画、原板)  
 観 覧 者 11 校 合計 3,352 名  
 担 当 者 石丸 美穂子、岡田 真梨子



## 趣旨とその成果

平成 18 年(2006)より、教育普及活動として本館収蔵作品を学校へ持ち込み、学校を美術館にする「スクールミュージアム」を開催している。美術作品を鑑賞することで、子どもたちの芸術、文化を愛好する心情を育てるとともに、学校の協力により、保護者、地域の方々にも広く本館収蔵品を知ってもらう機会としている。例年4月に県内の学校に実施校の募集をし、希望のあった学校から 10 校程度を選出。10 月から 12 月の期間に各校1日で開催している。具体的な内容については事前に開催校に赴いて担当者と協議し、鑑賞における要望等、実施計画を組み立てた。展示作品は、熊本ゆかりの版画家・彫刻家として知られる浜田知明の版画作品 20 点と原版 2 点、マルク・シャガールの版画集『サーカス』から 16 点をピックアップし、この中から学校側の希望により 18～34 点を展示した。今年度も文化祭での展示、鑑賞授業や図工・美術以外の他教科での授業、小中連携など実施形態は様々で、当館職員はギャラリートークや、学校職員と協力して鑑賞授業を行った。

## 実施校

実施日	実施校	児童・生徒 参加者数	保護者等 参加者数	合計
10 月 14 日(日)	くまもと清陵高等学校	50	35	85
10 月 15 日(月)	大津町立護川小学校	185	49	234
10 月 16 日(火)	玉名市立大野小学校	192	56	248
10 月 30 日(火)	芦北町立田浦中学校	119	21	140
11 月 8 日(木)	水俣市立湯出小学校	26	39	65
11 月 11 日(日)	人吉市立第一中学校	407	1,074	1,481
11 月 13 日(火)	阿蘇市立阿蘇西小学校	138	24	162
11 月 19 日(月)	熊本県立芦北支援学校	61	40	101
11 月 22 日(木)	水俣市立水俣第二小学校	382	147	529
12 月 5 日(水)	あさぎり町立深田小学校	83	21	104
12 月 15 日(土)	熊本県立小川工業高等学校	30	173	203
総計	11 校	1,673	1,679	3,352

# 浜田知明版画室 平成 30(2019)年度

## 概要

熊本市在住の版画家・彫刻家、浜田知明の版画作品約 10 点を入替ながら展示し、その作品と関連がある彫刻作品を毎回 1、2 点紹介している。本年度は浜田知明が白寿を迎えた記念として、第 1 期(4/27~7/15)は「原点 The Origin」と題し、旧制御船中学から東京美術学校在学中の作品、そして従軍期のスケッチ類を展示した。その後もテーマを設けた展示を展開する予定であったが、第 1 期の閉会直後の 7 月 17 日に浜田が逝去したことを受け、第 2 期



以降は「追悼・浜田知明展」と題し、彼の画業を辿る内容とした。追悼展第 1 期(8/4~9/24: 浜田知明版画室としては第 2 期)のテーマは「初年兵哀歌」。画家の代表作ともいえる銅版画シリーズ全 16 点を一挙に展示した。追悼展第 2 期(10/6~12/16)では戦争を主題としながらも、「初年兵哀歌」と名付けられなかった作品を紹介する展示を「名づけられざるもの」と題して開催。最後となる第 3 期(1/8~3/24)には、「その後の浜田知明」と題し、〈初年兵哀歌〉を集中的に制作した 1950 年代半ば以後の代表作を展示した。とりわけ追悼展第 1 期には、多くの方々が来館された。

会 場 熊本県立美術館本館 2 階浜田知明版画室  
担 当 者 林田龍太

## 会 期・出品作品リスト

□第 1 期:〈原点—The Origin—〉(4 月 27 日~7 月 15 日)

◇デッサン・スケッチ:《石膏デッサン(モリエール像)》昭和 9 年(1934)、《石膏デッサン(ヘルメス像)》昭和 9 年(1934)、《裸婦スケッチ》昭和 11 年(1936)、《《聖馬》のためのスケッチ(鎖)》昭和 13 年(1938)、《《聖馬》のためのスケッチ(鎖と人物)》昭和 13 年(1938)、《戦地でのスケッチ(臨晋にて 4 月 23 日)》昭和 16 年(1941)、《戦地でのスケッチ(中原会戦—関家溝にて 6 月)》昭和 16 年(1941)

◇版画:《聖馬》昭和 13 年(1938)

◇油彩画:《裸婦(未完)》昭和 12 年(1937)

◇資料:佐田勝、杉原正巳、浜田知明編『川西治男画集』昭和 13 年(1938)

□第2期：追悼展第Ⅰ期〈初年兵哀歌〉（8月4日～9月24日）

- ◇版画：《初年兵哀歌（芋虫の兵隊）》昭和25年（1950）、《初年兵哀歌（銃架のかげ）》昭和26年（1951）、  
《初年兵哀歌（便所の伝説）》昭和26年（1951）、《初年兵哀歌（戦いのあと）》昭和26年（1951）、《初年  
兵哀歌（歩哨）》昭和26年（1951）、《初年兵哀歌（歩哨）》昭和26年（1951）《初年兵哀歌（ぐにゃぐにゃ  
とした太陽がのぼる）》昭和27年（1952）、《初年兵哀歌（風景）》昭和27年（1952）、《初年兵哀歌》昭和  
27年（1952）、《初年兵哀歌》昭和28年（1953）、《初年兵哀歌（山を行く砲兵隊）》昭和28年（1953）、《初  
年兵哀歌（陣地）》昭和28年（1953）、《初年兵哀歌（歩哨）》昭和29年（1954）、《初年兵哀歌—風景（一  
隅）》昭和29年（1954）、《初年兵哀歌（廟）》昭和29年（1954）、《初年兵哀歌（檻）》昭和53年（1978）

□第3期：追悼展第Ⅱ期〈名づけられざるもの〉（10月6日～12月16日）

- ◇版画：《風景》昭和26年（1951）、《人》昭和26年（1951）、《風景》昭和27年（1952）、《中国の門》昭和  
27年（1952）、《假標》昭和29年（1954）、《高足踊り》昭和29年（1954）、《黄土地帯（A）》昭和29年（1954）、  
《黄土地帯（B）》昭和29年（1954）、  
◇ペン画・スケッチ：《忘れ得ぬ顔 B》平成20年（2008）、《夜行軍、雨》平成20年（2008）、《夜行軍、山を  
行く砲兵隊》平成20年（2008）、《山を行く砲兵隊》平成25年（2013）、  
◇彫刻：《腐っていく兵士》平成26年（2014）

□第4期：追悼展第Ⅲ期〈その後の浜田知明〉（1月8日～3月24日）

- ◇版画：《よみがえる亡霊》昭和31年（1956）、《副校長D氏像》昭和31年（1956）、《群盲》昭和40年（1960）、  
《噂》昭和41年（1966）、《飛翔》昭和33年（1958）、《愛の歌》昭和32年（1957）、《月夜》昭和52年（1977）、  
《アレレ…》昭和49年（1974）、《いらいら(A)》昭和49年（1974）、《せかせか》昭和50年（1975）、《ボ  
タン(A)》昭和63年（1988）、《ボタン(B)》昭和63年（1988）  
◇彫刻：《アレレ…》平成元年（1989）



# ■装飾古墳室

## 〈常設展示室〉

装飾古墳は全国で約 700 基確認されているが(平成 30 年現在)、大多数が九州の北・中部に残っており、県内には約 200 基が存在する。当館の装飾古墳室では、熊本県の代表的な装飾古墳を実物とレプリカで再現し、考古学ファンや児童生徒、一般来館者に楽しんでいただいている。

装飾古墳の特徴は、その装飾性にある。直弧文・円文・三角文等の幾何学文様と、武器・武具、人や動物、船や家などの具象形の文様が、彩色されたり彫刻されたりして墳墓や横穴を飾っている。赤・青・白などの単純で強烈な色彩や、素朴で躍動的な造型性は、われわれの心を揺り動かす。

しかし、装飾古墳は、崩壊の一途をたどっているのが現実である。当美術館は公開と保存という矛盾の中から解決を探る試みとして、精巧なレプリカや模刻・模写という方法で地元の偉大な文化遺産を写しとった。

平成 28 年 4 月の「熊本地震」によって古墳室内の展示ケース等が破損したため一部区画を閉鎖していたが、平成 29 年度「本館機能強化工事」によって全国の装飾古墳情報(文字情報と画像)を検索できる端末(2 台)を設置する情報スペースとした。



### 〈レプリカ・模刻〉

No	名称	出土地名	指定
1	大村横穴	人吉市城本町	国指定史跡
2	千金甲古墳(1号)	熊本市西区小島下町	〃
3	井寺古墳	上益城郡嘉島町	〃
4	鍋田横穴	山鹿市大字鍋田	〃
5	弁慶ヶ穴古墳	山鹿市熊入町	〃
6	チブサン古墳	山鹿市大字城字西福寺	〃

### 〈石材・石人等〉

No	名称	出土地名	所蔵(保管)者名
1	広浦古墳石棺石材	上天草市大矢野町	県立済々黌高等学校
2	鴨籠古墳石棺	宇城市不知火町	熊本大学
3	臼塚古墳石人	山鹿市大字石	県立鹿本商工高等学校
4	姫ノ城古墳出土翳・蓋・靱	八代郡氷川町	氷川町教育委員会

# ■教育普及

## □各種講座等

### 子ども美術館活動

回	期日	テーマ	講師	参加者数
1	5月27日(日)	レオナール・フジタってどんな人?	石丸美穂子(参事)、岡田真梨子(学芸員)、わーくしょっぷの会、子ども美術館ボランティア	9名
2	6月17日(日)	やってみよう染めもの体験	石丸美穂子(参事)、才藤あずさ(主任学芸員)、わーくしょっぷの会、子ども美術館ボランティア	39名
3	7月29日(日)	バックヤード探検～準備中の展示室ものぞいちゃおう～	石丸美穂子(参事)、才藤あずさ(主任学芸員)、わーくしょっぷの会、子ども美術館ボランティア	35名
4	8月11日(土)	ガラシャとロザリオ～ロザリオづくり体験～	大久保須美子(内坪井修道院)、石丸美穂子(参事)、山田貴司(参事)、わーくしょっぷの会、子ども美術館ボランティア	91名
5	10月21日(日)	気になる素材で作ってみよう!	石丸美穂子(参事)、林田龍太(主任学芸員)、わーくしょっぷの会、子ども美術館ボランティア	38名
				計 212名

### 出張授業及び研修等

	期日	内容	担当者	場所	
出張講座等	1	4月7日(土)～11日(水)	「佐々木耕成展」作品調査	林田龍太	長野県、東京都他
	2	5月9日(水)～11日(金)	九州博物館協議会	田崎龍一	沖縄県立美術館
	3	5月11日(金)	熊本市源空寺仏像調査	有木芳隆 萬納恵介	源空寺(熊本市)
	4	5月18日(金)	文化財レスキュー	有木芳隆 萬納恵介	宇土市内個人宅
	5	5月27日(日)～31日(木)	「佐々木耕成展」作品調査	林田龍太	佐々木耕成アトリエ(群馬県)
	6	5月29日(火)～31日(木)	「横井小楠とその時代」展作品調査	宮川聖子 林田龍太	山梨県、神奈川県
	7	6月12日(火) 13日(水)	「細川ガラシャ」展作品調査	宮川聖子	国立国会図書館(東京都)



8	6月17日(日) ～19日(火)	永青文庫石仏・金銅仏調査	萬納恵介	永青文庫(東京都)
9	6月19日(火) ～23日(土)	「横井小楠とその時代」展、「勇姫」 展作品調査	宮川聖子	福井市立郷土歴史博物館、福井県立図書館
10	6月25日(月) ～28日(木)	「佐々木耕成」展作品借用	林田龍太	個人宅(群馬県)、アーツ千代田、他
11	6月27日(水)	奥球磨セミナー講演	有木芳隆	多良木町
12	7月3日(火)	日本博物館協会参与会	田崎龍一	東京都黒田記念館
13	7月9日(月) ～13日(金)	「細川ガラシャ展」作品借用	山田貴司 才藤あずさ 萬納恵介	永青文庫、東京大学史料編纂所、他
14	7月17日(火)	美術館連絡協議会企画会議 平成31年度美術館コレクション I 出品交渉	林田龍太 岡田真梨子	千葉市美術館、町田市立国際版画美術館
15	7月18日(水) ～26日(土)	「細川ガラシャ展」作品借用	山田貴司 才藤あずさ 宮川聖子	大阪城天守閣、奈良女子大学、他
16	8月17日(金)	教員のための博物館の日 in 熊本	石丸美穂子	熊本県博物館ネットワークセンター
17	8月23日(木)	八代市立博物館協議会	田崎龍一	八代市立博物館
18	9月4日(火)	文化財レスキュー資料整理	有木芳隆 萬納恵介	益城町
19	9月20日(木) 21日(金)	「佐々木耕成」展作品借用	林田龍太	東京国立近代美術館、東京都現代美術館、他
20	9月27日(木)	「細川ガラシャ」展作品返却	宮川聖子	九州国立博物館、立花家史料館、他
21	9月28日(金) ～10月4日(木)	「細川ガラシャ」展作品返却及び 「武蔵、熊本にきたる」展作品借用	山田貴司、 才藤あずさ	岡山県立美術館、永青文庫、他
22	10月2日(火)	「細川ガラシャ」展作品返却及び 「武蔵、熊本にきたる」展作品借用	有木芳隆	福岡市博物館、北九州市立いのちのたび博物館
23	10月9日(火) ～12日(金)	「細川ガラシャ」展作品返却	山田貴司	奈良女子大学、南禅寺天寿庵、他
24	10月12日(金) ～14日(日)	仏像調査指導	有木芳隆 萬納恵介	高千穂町内堂宇(宮崎県)
25	10月26日(金) 27日(土)	平成31年度展覧会に係る作品調査	山田貴司 萬納恵介	東京大学史料編纂所、慶応義塾図書館
26	10月28日(日)	明治維新150年を考えるシンポジウム Vol.4	宮川聖子	響のホール(福井市)

	27	11月9日(金)	熊本県点訳音訳友の会研修会講演	才藤あずさ	熊本県点字図書館
	28	11月13日(火) 14日(水)	第Ⅳ期コレクション展に係る作品調査	岡田真梨子	岡山県立美術館、岡山大学
	29	11月16日(金) 17日(土)	「熊本城と武の世界」展出品交渉	才藤あずさ	刀剣博物館、名古屋市博物館
	30	11月21日(水) 22日(木)	文化財レスキュー資料整理	有木芳隆 萬納恵介	熊本県博物館ネットワークセンター
	31	11月27日(火) ～30日(金)	平成31年度展覧会に係る作品調査	山田貴司	福岡大学、山口県文書館、東京大学、他
	32	11月30日(金)	第61回熊本県図画工作・美術教育研究大会(熊本市大会)	石丸美穂子	熊本県立美術館
	33	12月16日(日)	平成31年度展覧会に係る打ち合わせ及び作品調査	岡田真梨子	町田市立国際版画美術館
	34	12月18日(火) ～23日(日)	第Ⅲ期コレクション展作品返却及び、第Ⅳ期コレクション展借用	有木芳隆 山田貴司 林田龍太 宮川聖子	岡山県立美術館、永青文庫、他
	35	12月27日(木)	第Ⅲ期コレクション展作品返却	山田貴司	北九州市立いのちのたび博物館
	36	1月9日(水) 10日(木)	永青文庫所蔵資料調査打ち合わせ、文化庁ヒアリング	才藤あずさ	永青文庫、文化庁(東京都)
	37	1月20日(日)	小楠没後150年(生誕210年)顕彰企画講演会	宮川聖子	秋津公民館(熊本市)
研修	1	9月10日(月) ～14日(金)	文化庁展示取扱いセミナー	才藤あずさ	京都国立博物館

## □ミュージアムセミナー

### ～熊本県立美術館 美術鑑賞講座～

回	期日	テーマ	講師	参加者数
1	5月26日(土)	フジタとパリの画家たち	学芸員 岡田 真梨子	42名
2	6月9日(土)	武家の装い	主任学芸員 才藤 あずさ	44名
3	6月23日(土)	ガラシャイメージの形成と展開	学芸課参事 山田 貴司	87名
4	10月20日(土)	前衛美術とアニメーション	学芸課参事 林田 龍太	29名
5	11月24日(土)	熊本中世の仏像	学芸員 萬納 恵介	33名
6	2月23日(土)	横井小楠とその時代	主任学芸員 宮川 聖子	113名
				合計348名

## □実技講座

期日	講座内容	講師	参加者数
11月7日(水)～9日(金) 11月14日(水)～16日(金)	細川コレクション関連講座 「日本画講座」 日本画[模写]制作体験+展覧会鑑賞	日本画家 浮島館主宰 大塚浩平氏	10名
※「日本画」講座は講師の希望により受講者を少人数で設定している。			

## □学芸員資格取得課程実習(博物館実習)

8月23日(木) ～29日(水)	熊本大学・久留米大学に在籍する 大学生	8名	本館 会議室等	宮川聖子 (学芸課主任学芸員) 他学芸課職員
---------------------	------------------------	----	------------	------------------------------

## □講演会

期日	テーマ	講師	参加者
8月25日(土)	イエズス会史料からみた細川ガラシャ	青山学院大学准教授 安 廷苑 氏	176名
9月8日(土)	新・明智光秀論	熊本大学永青文庫研究センター 教授 稲葉 継陽 氏	351名
1月12日(土)	横井小楠と維新変革	大阪大学名誉教授 猪飼 隆明 氏	196名

## □平成 30 年度熊本県立美術館ボランティアの活動

### ■美術館サポートボランティア

当館のボランティア活動については、平成 4 年に美術館友の会を母体としてスタートし、平成 5 年以降は「熊本県立美術館ボランティア会」として、美術館の作業サポートや子ども美術館のワークショップ、コレクションガイドなどの活動を続けてきた。

平成 25 年度からは、美術館が運営するものとし、名称を「美術館サポートボランティア」と改め、新体制で活動を再スタートしている。

平成 30 年度は 51 名が登録し、以下の基本方針のもと、各グループに分かれて活動した。

◆美術館サポートボランティアは美術館の日々の活動を支えることを目的とする。そのために、次の活動を行う。

- 美術館運営のための支援(作業・広報)活動。
- ワークショップ活動(教育普及)の支援活動。

### ■活動内容について

(1)各グループでの活動(4 グループのいずれかに所属し活動する)

#### ① 図書グループ

毎週火曜日に活動し、展覧会図録や美術図書の整理を行った。

#### ② 資料グループ

月 2 回水曜日に活動し、新聞記事の切り抜き、資料の分類・整理を行った。

#### ③ ポスターグループ

第 2 月曜日、第 4 木曜日に活動し、展覧会ポスター・チラシの掲示・整理、発送作業を行った。

#### ④ 子ども美術館グループ

年に 4 回、前日の活動を合わせると 8 回活動し、子ども美術館でスタッフの一員として、教材づくりや子ども達の支援を行った。

(2)その他の活動(希望者による活動)

#### ① 障がい者支援

【障がいのある方々の鑑賞デー】

平成30年度は、5月21日(月)、9月3日(月)、11月19日(月)の3回開催。午前・午後の交代制で多数のボランティア会員にご協力をいただき、館内案内、展覧会案内、車椅子の移動支援など、障がいのある方々への支援に取り組んだ。

#### ② 熊本オペラ芸術協会 細川ガラシャ展・記念コンサート

～オペラ「細川ガラシャ」(出田敬三 作曲)公演(ハイライト)～  
ボランティアの希望を募って実施、会場整理等を行った。

#### ③ 美術館研修会(サポートボランティアを対象に行う)

美術館のミュージアムセミナー、講演会に参加した。毎回 20 人程度が参加している。

#### ④ 自主学習会

意欲のある人たちが集まって以前からの学習会を自主的に継続している。

## IV 資料

### ■観覧者状況及び事業報告

#### □年度別入館者数

年度	主催・共催展				貸会場				計			
	回数	日数	入場者数	1日平均入場者数	回数	日数	入場者数	1日平均入場者数	回数	日数	入場者数	1日平均入場者数
昭和50年度	1	19	23,507	1,237	0	0	0	0	1	19	23,507	1,237
昭和51年度	18	412	302,395	734	17	101	46,471	460	35	513	348,866	680
昭和52年度	14	350	89,775	257	25	158	58,426	370	39	508	148,201	292
昭和53年度	18	438	205,025	468	19	137	76,183	556	37	575	281,208	489
昭和54年度	18	379	136,566	360	25	139	45,824	330	43	518	182,390	352
昭和55年度	16	365	110,593	303	24	173	61,261	354	40	538	171,854	319
昭和56年度	18	412	105,317	256	26	186	55,464	298	44	598	160,781	269
昭和57年度	15	433	182,457	421	25	162	50,476	312	40	595	232,933	391
昭和58年度	16	389	119,773	308	24	182	60,385	332	40	571	180,158	316
昭和59年度	16	398	103,005	259	25	155	47,687	308	41	553	150,692	272
昭和60年度	15	402	80,805	201	24	180	89,936	500	39	582	170,741	293
昭和61年度	16	438	137,798	315	28	186	48,321	260	44	624	186,119	298
昭和62年度	17	452	204,621	453	26	177	67,769	383	43	629	272,390	433
昭和63年度	18	436	143,992	330	25	170	76,406	449	43	606	220,398	364
平成元年度	18	493	192,916	391	25	191	71,004	372	43	684	263,920	386
平成2年度	16	458	182,813	399	27	205	115,017	561	43	663	297,830	449
平成3年度	16	435	182,231	419	26	172	58,675	341	42	607	240,906	397
平成4年度	15	506	137,320	271	31	223	65,103	292	46	729	202,423	278
平成5年度	22	690	153,677	223	104	669	162,734	243	126	1,359	316,411	233
平成6年度	19	565	198,610	352	119	789	193,628	245	138	1,354	392,238	290
平成7年度	18	553	218,537	395	138	887	221,809	250	156	1,440	440,346	306
平成8年度	17	452	210,043	465	92	622	164,596	265	109	1,074	374,639	349
平成9年度	13	363	68,225	188	130	801	189,534	237	143	1,164	257,759	221
平成10年度	16	570	103,579	182	137	889	172,409	194	153	1,459	275,988	189
平成11年度	14	479	163,538	341	158	982	213,522	217	172	1,461	377,060	258
平成12年度	16	525	143,028	272	153	969	253,794	262	169	1,494	396,822	266
平成13年度	13	432	96,938	224	151	965	218,165	226	164	1,397	315,103	226
平成14年度	15	472	120,577	255	144	893	171,247	192	159	1,365	291,824	214
平成15年度	14	481	116,014	241	172	1,059	208,160	197	186	1,540	324,174	211
平成16年度	13	420	65,729	156	174	1,111	209,413	188	187	1,531	275,142	180
平成17年度	12	434	95,550	220	172	1,041	187,883	180	184	1,475	283,433	192
平成18年度	21	385	73,945	192	165	995	189,301	190	186	1,380	263,246	191
平成19年度	21	371	162,652	438	180	1,121	206,943	185	201	1,492	369,595	248
平成20年度	30	663	226,126	341	175	1,093	209,314	192	205	1,756	435,440	248
平成21年度	22	736	98,212	133	174	1,111	260,714	235	196	1,847	358,926	194
平成22年度	22	632	101,051	160	166	1,033	215,981	209	188	1,665	317,032	190
平成23年度	22	525	191,658	365	175	1,034	233,227	226	197	1,559	424,885	273
平成24年度	21	652	137,416	211	168	1,069	281,306	263	189	1,721	418,722	243
平成25年度	24	766	140,291	183	171	1,047	222,282	212	195	1,813	362,573	200
平成26年度	24	736	101,242	138	163	1,050	274,295	261	187	1,786	375,537	210
平成27年度	21	586	82,968	142	123	801	214,023	267	144	1,387	296,991	214
平成28年度	26	316	45,880	145	95	586	97,932	167	121	902	143,812	159
平成29年度	22	430	101,147	235	104	667	173,631	260	126	1,097	274,778	250
平成30年度	25	642	115,013	179	148	1,255	209,691	167	173	1,897	324,704	171
累計	784	21,091	5,972,555	283	4,273	27,436	6,449,942	235	5,057	48,527	12,422,497	256

口主・共催展観覧者状況

展覧会名	期日	日数	当日			区分			学 校 共 済 観 覧 者	実 施 会				アーツセンター プラザ	合 計	高 校 生	中 学 生	小 学 生	未 就 学 児	保 護 者	ホ ス タ ー	障 がい 者	そ の 他	観 覧 者 数	一 日 早 朝 入 場 者 数			
			一般	大 学 生	小 計	一 般	大 学 生	小 計		一 般	大 学 生	小 計	一 般													大 学 生	小 計	
			区 分	一 般	大 学 生	小 計	区 分	一 般		大 学 生	小 計	区 分	一 般													大 学 生	小 計	
第1期アートフェスティバル 特別 越前町の歴史と文化 開催 越前町教育委員会 協賛 越前町教育委員会 越前町民会館	4/27~7/15	71	720	28	748	区 分	一 般	大 学 生	小 計	26	201	7	7	0	0	2,741	112	167	584	43	26	0	195	145	4,013	57		
第1期アートフェスティバル 西粟の街へ 巨龍と龍と新しい街の空	4/27~7/15	71	316	15	331	区 分	一 般	大 学 生	小 計	13	110	6	8	0	0	2,115	46	73	220	24	12	0	117	67	2,674	38		
第1期アートフェスティバル 親子で楽しむ美術館 二の丸小さき日の秋田	7/28~9/24	53	5,306	364	5,670	区 分	一 般	大 学 生	小 計	66	123	5	15	0	0	5,967	139	287	400	101	20	83	179	99	7,275	137		
第1期アートフェスティバル 特別 文蔵、龍宮にまつわる！ 開催 龍宮の歴史博物館 協賛 龍宮の歴史博物館 龍宮の歴史博物館	10/6~12/16	63	1,720	79	1,799	区 分	一 般	大 学 生	小 計	30	164	5	7	0	0	2,595	91	172	1,596	25	35	63	262	412	5,251	83		
第1期アートフェスティバル 特別 越前町の歴史と文化 開催 越前町教育委員会 協賛 越前町教育委員会 越前町民会館	11/27~12/16	18	93	3	96	区 分	一 般	大 学 生	小 計	1	27	2	5	0	0	550	2	4	5	4	1	0	7	11	587	33		
第1期アートフェスティバル 特別 越前町の歴史と文化 開催 越前町教育委員会 協賛 越前町教育委員会 越前町民会館	1/8~3/24	86	1,822	80	1,902	区 分	一 般	大 学 生	小 計	28	167	5	1	0	0	3,811	125	101	191	65	22	80	212	490	5,106	77		
第1期アートフェスティバル 越前町の歴史と文化 開催 越前町教育委員会 協賛 越前町教育委員会 越前町民会館	1/12~3/24	62	425	37	462	区 分	一 般	大 学 生	小 計	1	72	4	1	0	0	2,111	65	29	41	25	6	0	70	208	2,553	41		
スターミュージアム (くまもと建設専門学校)	10/14	1	35		35	区 分	一 般	大 学 生	小 計							35	30									83	83	
スターミュージアム (大津町立豊島小学校)	10/15	1	49		49	区 分	一 般	大 学 生	小 計							49											254	254
スターミュージアム (高松市立豊島小学校)	10/16	1	58		58	区 分	一 般	大 学 生	小 計							58											348	348
スターミュージアム (津市立豊島中学校)	10/30	1	21		21	区 分	一 般	大 学 生	小 計							21	119										140	140
スターミュージアム (水原町立豊島小学校)	11/8	1	36		36	区 分	一 般	大 学 生	小 計							36											65	65
スターミュージアム (人吉町立豊島中学校)	11/11	1	1074		1,074	区 分	一 般	大 学 生	小 計							1,074											1,481	1,481
スターミュージアム (高松市立豊島小学校)	11/13	1	34		34	区 分	一 般	大 学 生	小 計							34											165	165
スターミュージアム (津市立豊島中学校)	11/19	1	40		40	区 分	一 般	大 学 生	小 計							40											101	101
スターミュージアム (水原町立豊島小学校)	11/22	1	147		147	区 分	一 般	大 学 生	小 計							147											529	529
スターミュージアム (あさき町立豊島小学校)	12/5	1	21		21	区 分	一 般	大 学 生	小 計							21											104	104
スターミュージアム (高松市立豊島小学校)	12/15	1	113		113	区 分	一 般	大 学 生	小 計							113	30										200	200
合 計		415	12,081	606	12,687	区 分	一 般	大 学 生	小 計	165	804	34	44	0	0	21,569	660	1,354	4,043	287	122	235	1,106	1,435	30,811	74		
特別展 山東二三情	7/28~9/17	47	6,639	2,689	9,328	区 分	一 般	大 学 生	小 計	473	316	13		0	4	19,115	69	182	28	616	238	21	342	759	203	21,573	459	
特別展 越前町民会館	8/4~9/24	47	4,752	281	5,033	区 分	一 般	大 学 生	小 計	209	360	12		0	0	17,043	598	830	690	135	793	36	293	960	342	21,660	461	
特別展 越前町民会館	10/6~11/18	38	2,083	5	2,088	区 分	一 般	大 学 生	小 計	0	199	0	13	0	0	2,539	488										3,451	91
合 計		132	13,454	2,975	16,429	区 分	一 般	大 学 生	小 計	682	835	25	13	0	4	38,217	1,163	1,012	718	751	1,082	154	635	1,886	576	46,684	354	

□貸会場事業報告及び観覧者状況(本館)

展覧会名	期日	日数	主催者	内容	入場者数	観覧料
藤城清治展	4/27～6/2	34	株式会社 テレビ熊本	世界でも類を見ない影絵の手法によりファンタジーや童話の世界を描き出してきた日本を代表する影絵作家、藤城清治の作品を物語性豊かに紹介する展示。	27,012	一般・大学生1,400円 小中高生800円
第40回記念 熊本県日本画協会展	6/5～6/10	6	熊本県日本画協会	会員・会友・一般応募作品(日本画・水墨画)約200点の展示。	1,052	一般300円 大学・高校生200円 団体(20名以上)200円
第46回 熊本県美術家連盟展	6/12～6/17	6	熊本県美術家連盟	洋画(水彩・油絵・版画)、日本画、彫刻、工芸、デザインの展示。	1,357	無料
第37回 熊日新鋭・学童書道展	6/19～6/24	6	株式会社 熊本日日新聞社	高校生以上新鋭の部、中学生以下学童の部、上位入賞の約700点を展示。	1,381	無料
第73回 県美展	9/26～9/30	5	熊本県美術協会	洋画(油彩、水彩、他)F20号～F100号の展示。	1,688	一般・大学生500円
日本水彩 熊本巡回展	10/2～10/8	7	日本水彩画会熊本支部	106回日本水彩展の作品F80～50号を約100点展示。	1,948	無料
熊本芸術祭 和楽2018	10/10～10/14	5	株式会社 六曜社	現代芸術家の絵画、書道、写真、工芸などの作品を額・軸装、立体で展示。	434	無料
漫画界のレジェンド 松本零士展	10/27～12/24	52	株式会社 テレビ熊本	15歳でのデビュー以来、60年以上にわたる創作の歩みを展示。	8,024	一般・大学生1,200円(1,000円) 中学・高校生800円(700円) 小学生500円(400円) ( )内は前売料金
いのち輝く子ども美術展in Kumamoto	1/22～1/27	6	特定非営利活動法人 こども美術文化研究会	子どもたちの自由画、写真、動画、造形作品の展示。	683	無料
平成30年度崇城大学芸術学部卒業展・大学院芸術研究科修了展	2/19～2/24	6	学校法人君が淵学園 崇城大学	崇城大学芸術学部の卒業制作及びび大学院生の終了作品、平面絵画、立体、デザイン、映像、インスタレーション等を約60点展示。	1,002	無料
第59回 熊日書道展	2/26～3/3	6	株式会社 熊本日日新聞社	入選以上の作品ならびに当展の委嘱作家、無鑑査の作品の展示。	1,062	一般 300円(中学生以上)
小計		139			45,643	

分館(展示室1・2・3)

展示室名	期日	日数	主催者	内容	入場料	観覧料
第18回藤山水墨画協会展	4/3～4/8	6	藤山水墨画協会	藤山水墨画協会会員による作品の展示	883	
清和小型糸画書初展	4/3～4/8	6	清和書道会	半切1/4作品を600点展示	464	
第25回玉名美術協会展	4/3～4/8	6	玉名美術協会	油絵、水彩、ペン画、日本画、陶芸、約40点	1,118	
第56回白鷺書道会展	4/10～4/15	6	白鷺書道会	展示室1 役員(常任理事以上)による書道作品を展示 展示室2・3 役員以外の書道作品(懸書作品を含む)を展示	1,259	
前田瑠子キルトの歩み&交流合同展	4/17～4/22	6	前田瑠子個展実行委員会	ハンガークルト約100点展示	1,832	
多宝塔を現代美術のメッセージ-現代アートと密教文化展-のびやかクワブ絵画展	4/17～4/22	6	蓮華院蓮生寺	高橋秀画仙絵画 18点 今村九十九太師作仏像 1体	1,471	
山口輝也作品展	4/24～5/6	12	山口輝也	油絵、水彩、20名×2～3点	897	
第39回水彩連盟熊本支部展	4/24～4/30	7	水彩連盟熊本支部	絵画の制作活動を始めた青年期から現在までを辿る作品約50点展示 殆どが油絵でバスケット作品が1点加わる 作品サイズは200号1点のほか、130号、120号、100号、80号、50号、最少SML点、全て平面の絵画作品	1,485	
2018熊本水彩画教室合同展	4/24～4/30	7	熊本水彩画教室	30名の熊本支部会員(水彩連盟)が40～F100までの水彩画を約40点展示	1,017	
コマエ絵画展	5/2～5/6	5	中西信雄	熊本水彩画教室 各人油絵5点程度で約100点展示	1,147	
水墨画未登壇之会	5/2～5/6	5	朱香墨之会	会員20人以上による絵画展 各人油絵5点程度で約100点展示	642	
第68回モン・アール協会 熊本	5/8～5/13	6	モン・アール協会	F120号～F15号 輪絵	789	
第20回清原展	5/15～5/20	6	第20回清原実行委員会	第68回モン・アール協会 熊本 本展の譲渡作品(5賞作品)、会員作品および九州在住の作家による展覧会 展示予定作品は絵画75点 彫刻7点、版画13点、写真7点、デザイン13点、スペースアート10点の195点を展示	2,733	
日本風景写真協会熊本支部第12回写真展	5/15～5/20	6	日本風景写真協会熊本支部	清々堂卒業の絵画作者、写真家並びに書道家等の作品及び旧職員の作品を展示	1,038	
武蔵野美術大学校友会熊本支部展	5/15～5/20	6	武蔵野美術大学校友会熊本支部	全熊本風景写真約50点展示	1,126	
第71回例会熊本展	5/22～5/27	6	一般社団法人示現会熊本支部	油絵、水彩、工芸、日本画	1,027	
新しい水彩画への挑戦-堤啓一展	5/29～6/3	6	堤啓一	平成30年4月に国立新美術館で開催される第71回示現会展の作品の中から秀作約60点を巡回する 合わせて熊本県内出品者の作品約30点を合同展示 作品内容は油絵、水彩、その他の絵画	4,886	一般、600円 大学生、400円 高校生以下無料
第30回朱土会 日本画展	5/29～6/3	6	朱土会	画業30年を記念する展覧会 F20～F1300の水彩画作品約45点を展示	846	
第40回虹の会派画展	5/29～6/3	6	虹の会	日本美術院院友の高村淳氏の指導で日本画の学習を続けている、40代から80代まで約300名以上の会員が人物、静物、風景、さまざまなテーマを描いている、10号～100号の作品	796	
第11回千柳会 心豊かに趣味の水墨画展	6/5～6/10	6	千柳会	虹の会員13名による新作派画の展示(1年間の勉強の成果の発表)及び交流団体「きつつき」の会(竹田市)の作品も併せて展示	933	
第9回輪々坂絵画教室作品展	6/5～6/10	6	輪々坂絵画教室	千柳会会員約100人の水墨画作品、賛助出品、奉山千柳先生	1,067	
フォト「たばっこ」写真展	6/5～6/10	6	フォト「たばっこ」	水彩、油絵等約80号～6号に至る約80点を展示 静物、風景、人物等	743	
熊押花の会 会員作品展(第18回火の回押花フェスタ)	6/12～6/17	6	熊押花の会	会員18名による金銀サイズ展示 一人3～5点で約80点 さらに賛助出品として18名×2点(4切額展示)も展示	939	
第30回熊工芸美術協会 美術展	6/12～6/17	6	熊工芸美術協会	押し花細絵	710	
第29回国際文化交流会遊技茶掛展	6/19～6/24	6	国際文化交流会	油絵、日本画、水彩画、水墨画、写真、デザイン、建築、パズル、工芸作品等 40点	549	
吉田勇樹油絵展	6/19～6/24	6	吉田勇樹	県内各団体から推薦された約80名の掛軸様式の書作品約80点を展示	461	
熊本の建築家作品展 書法篆刻展	6/26～7/1	6	熊本建築家協会熊本地域会	油絵約60点	470	
大震災被災者への一	6/26～7/1	6	大震災被災者への一	建築作品の展示(パネル、模型、リーフレット)	307	
熊本独立作家展	6/26～7/1	6	熊本独立作家	篆刻、篆書、書作品約100点の展示	560	
中村玲史展	7/3～7/8	6	中村玲史	絵画展示	423	
第9回墨影無情会展	7/3～7/8	6	墨影無情会	洋画100号～130号、20～30点	822	
熊本復興書道展	7/3～7/8	6	野中健	油絵100号～F130号、約30点	494	
第1785周年記念 第81回銀光展	7/10～7/16	7	銀光会	水墨画、墨彩画にて花鳥・山水画等を彫軸、額装にて約50点展示	714	
第20回書道遊技書道展	7/18～7/22	5	広深書道会	書道篆刻30人の古布と書のコラボ	650	
写真展 「岩光昭の世界-ネコ歩き」	7/18～8/12	23	アレル熊本事業部	銀光会会員、会友の作品、公募展として一般の作品(入選作品のみ) 油絵、水彩の具象絵画を基盤とし、熊本で故土の公募展で約200点個性的創造的な作品展示	5,675	一般、300円 大学生、200円 高校生以下無料
蒲川草庭書道展	7/24～7/29	6	玄泉書道会	月刊誌書誌「書翰」で断続クワスの会員による作品発表 約100点を展示	500	
				NHK BSプレミアムで放送された好評を得ている「若合光昭の世界-ネコ歩き」の写真展 若合光昭氏が番組のロケと並行して撮影した写真作品と番組映像を交えて展示	16,368	一般、大学生、1,000円 高、中学生、800円 小学生以下無料
				・2×8尺(額) 全紙(額・軸) 半切(額・軸) 小作品(額・軸) 合計約100点を展示	789	



第46回観心展	7/31～8/5	6	観心会	約45名各1点の書作品		701	一般・大学生800円 高校生600円 中学生以下無料
中村征大写真展 海への旅 熊本震災復興支援	8/7～8/12	6	田中一志	写真(国内外)パネル約200点		883	一般・大学生800円 高校生600円 中学生以下無料
第46回九州心象展	8/14～8/19	6	九州新象作家協会	主に平酒の美術作品約50点 九州の新象作家協会の会員の作品を招待し展示		667	
第30回彫理グループ'88展	8/14～8/19	6	彫理グループ'88会	熊本大学教育学部美術科の彫理専攻の卒業生で組織されている。石原正一先生に指導を蒙る卒業生が1988年に創立し開始した会である。主に人体像(全身、胸像、頭像)が多く素材はFRRや石膏、木などで制作されている。県美展の会員やほとんどが県内で美術教師として活躍している。		487	
第32回熊本平和美術展	8/14～8/19	6	第32回熊本平和美術展実行委員会	絵画 書 染色 工芸 他約100点		715	
第40回熊本県書道展	8/21～8/26	6	熊本書法文化振興会	「書道展」書道の研究者・愛好者間の確知をはかり熊本書道の水準向上と底辺の拡充を目的とした書道展		1,953	
第30回熊本県シルバードアート作品展	8/28～9/2	6	一般財団法人熊本さわかき長寿財団	日本画 洋画 写真 書 彫刻 工芸の6部門を展示		4,017	
第32回日洋展九州・熊本会場	9/4～9/9	6	日洋会熊本支部	油絵 水彩画 版画 ペン画 大作150号も含め約120点を展示 内容は具象的な表現に基づき制作した作品		3,265	一般・大学生 600円 高校生以下無料
第45回熊本県書道連盟展	9/11～9/17	7	熊本県書道連盟	熊本県書道連盟会員による漢字、仮名、篆刻、小字款、調和体など書道の全分野に亘る作品約250点		1,417	
第84回東光展(熊本会場)	9/19～9/24	6	東光会熊本支部	大作(130号以下)約130点 小品(10号以下)約50点		5,805	一般 300円 大学生以下無料
第73回熊本県美術協会展(県美展)	9/26～9/30	5	熊本県美術協会	日本画 彫刻 版画 工芸 デザインを全館に展示 主に1F・ギャラリーはデザイン・工芸、2Fは日本画・版画、4Fは彫刻・日本画という構成で展示		3,690	一般・大学生500円 高校生以下無料
計		317				82,240	

分館(展示室1・2・3)

貸会場事業報告及び観覧者状況

観覧者名	期日	日数	主催者	内容	観覧者数	観覧料
熊本県立第二高等学校美術部制作展	10/2～10/8	7	熊本県立第二高等学校	熊本県立第二高等学校美術科1年生から3年生の作品を展示。絵画・デザイン・彫刻など今年度に生徒が制作した作品展	1,005	
第17回フナト千葉城写真展	10/2～10/8	7	フナト千葉城	フナト千葉城会員写真展 全紙サイズ80点 自然 風景 動植物 スナップ スナップ その他	1,051	
麻生正三写真展 自然の神祕	10/2～10/8	7	麻生正三	大型プリント写真(970×1465)を中心35枚～40枚の展示	1,556	
第1回熊本県水墨画協会展	10/10～10/14	5	熊本県水墨画協会	1. 墨を主体とした水墨画 2. 6号以上のアクリル使用額装のみ展示	1,084	
第1回春陽会(東京院)出品者で九州在住の研究会による作品展	10/10～10/14	5	春陽会(東京院)出品者で九州在住の研究会	春陽会(東京院)出品者による作品展 4作品 平面画(油彩画、ペンシル)・点数 40点 出品者 15名	520	
第36回兼城昌とそのグループ展<書>	10/10～10/14	5	昌山会	熊日生涯学習センターNHK文化センターで受講する入達の作品発表会 漢字、かな、大字、書など	584	
第58回熊本県水彩画会展	10/16～10/21	6	熊本県水彩画会	水彩画の展示 (本展部門 小品部門)約210点	一般 300円 大学生 200円 高校生以下無料	
第18回熊本県高等学校美術展	10/23～10/28	6	熊本県高等学校文化連盟美術専門部	洋画 日本画 彫刻 工芸 デザイン作品 40～50点	942	
創価学会「核兵器なき世界への連帯展」実行委員会	10/23～10/28	6	創価学会「核兵器なき世界への連帯展」実行委員会	昨年ノーベル平和賞を受賞したTIGUANと共同制作した展示 軍事、安全保障の観点からのみ議論されがちな核兵器の問題について議論に向けて男女と希望の連帯を促す(一部物品も)で研究	9,736	
第60回普通愛好者展	10/23～10/28	6	日本の普通会	普通作品等の展示	1,167	
第13回熊本県高等学校美術展	10/30～11/4	6	熊本県高等学校文化連盟美術専門部	油彩 水彩 日本画 デザイン 彫刻 立体など 200点	2,936	
第20回熊本県高等学校学生入会優秀作品展	11/6～11/11	6	国際文化交流会	熊本の学生入会員の作品展	2,290	
第45回学生卒業書道展	11/13～11/18	6	株式会社書道院	全国の成人会員から出品される作品展 漢字、かな、ペン、水墨画、調和体、形態は軸、額	1,840	
書美院創立50周年記念作品展	11/20～11/25	6	熊本県アマチュア絵画連盟	熊本の学生卒業の作品展	831	
第60回熊日写真展	11/20～11/25	6	熊本県アマチュア絵画連盟	油彩 水彩 版画 水墨画 260点		
くまもと彫刻い・者芸術展	11/20～11/25	6	熊本日日新聞社事業局	県内の写真文化の振興と技術向上を目的に毎年開催 熊日賞の部98点 新人の部11点 計109点に招待作家作品を加えて展示 題材は自由で作品は板バネ仕上げ	1,502	
くまもと彫く力2018「熊日美術公募展」	11/27～12/9	12	熊本日日新聞社事業局	彫刻い・者が製作した絵画・書・陶芸・工芸等の作品に日々の活動や作品に込めた思いを記したコメントを添えて展示	1,835	
第5回熊本県高等学校書道展	12/11～12/16	6	熊本県高等学校文化連盟書道専門部	県内在住者や県出身者を対象とした芸術公募展 入賞・入選の作品約150点を展示	5,630	
第38回美術文化熊本支部展	12/18～12/24	7	美術文化協会熊本支部	県内高校生の作品約250点を展示 本書道展の審査で最優秀賞に選ばれた8点は今年度全国高校総文祭の熊本県代表に推薦される また夏に開催した県高校総文祭大会の上位作品も展示	1,840	
熊本二紀作家展	12/18～12/24	7	二紀会熊本支部	油彩 水彩 彫刻など 全国の女性会員の小品展示	670	
第21回古泉全国書道展	12/18～12/24	7	古泉書道会	油彩画約30点展示	625	
第72回熊日学館スケッチ展	1/8～1/14	7	熊本日日新聞社事業局	写真6名 インスタレーション1名 作品合計約60点	1,005	
第41回前編大学書道展	1/8～1/14	7	前編大学	1/日展会 入選作家 4名 出品家 師範他・展示作品の種類 2×8尺(額) 全紙(額・軸) 半切(軸) 小作品(軸)	1,602	
水彩連盟熊本支部展	1/16～1/20	5	水彩連盟熊本支部	県内の中学生約5000点の中から審査で選ばれた入賞・入選作品370点を展示	1,190	
制元会熊本支部展	1/16～1/20	5	制元会熊本支部	漢字各書体及び版名の題書、創作、假書、篆刻、刻字、水墨画、漢字収名 交じり書など約30点を展示 併せて卒業生作品展を併催し約40点の作品を展示	479	
第16回くまもともの美術展	1/22～2/3	12	熊本県園芸工作美術教育研究会	水彩連盟熊本支部会員30名がF50～F100までの水彩画作品約40点を展示	661	
熊本市立必由館高等学校芸術コース美術・書道系卒業制作展	1/22～1/27	6	熊本市立必由館高等学校芸術コース美術・書道系卒業制作展	支那会員制作の洋画、小作品から100号を展示	881	
第1回二科出品者熊本・長崎合同絵画展	1/29～2/3	6	二科熊本支部	熊本県下の小・中学生の平面作品を約1400点展示	4,611	
第30回大津高校美術コース卒業制作展(第7回臨美展)	2/5～2/11	7	熊本県立大津高等学校芸術コース	美術系・・・3年生の卒業制作約40点 デッサン、小作品約15点 油彩、水彩の小作品約20点 賛助出品6点	2,033	
第1回普通連盟小作品作品展	2/5～2/11	7	熊本県普通連盟	熊本及び長崎の出品者の中から選抜された作者の大作(絵画)を中心に約70点を一堂に展示する	3,051	
第38回前編大学卒業書道展	2/13～2/17	5	前編大学	卒業生年々3年生17名の絵画、デザイン、立体作品を中心に1・2年生の優秀作品を展示 総展示数約80点	515	
現在アート展	2/13～2/17	5	現在アート展	熊本県普通連盟会員による小作品の展示 漢字 仮名 調和体(近代書文) 少字数 篆刻など約200点展示	1,055	
しんか展	2/13～2/17	5	しんか展	本学普通連盟コース4年生が4件制作の集大成として卒業書道展を開催 学生作品 教員の作品あわせて約40点を展示	569	
第28回熊本大学芸術学部美術科卒業・修了制作作品展	2/19～2/24	6	熊本大学芸術学部美術科	油彩 水彩 日本画 色鉛筆画 立体など	615	
第22回国際文化交流会選抜展書展	2/26～3/3	6	国際文化交流会	知的障がいのあるひとの絵画展 18才以上の全国の知的障がい者の絵画の全国公募美術展 約50点	400	
熊本大学教育学部美術科卒業・修了制作作品展	3/5～3/10	6	熊本大学教育学部美術科	第24回熊本大学デザイン専門学校卒業制作展 グラフィック 建築 インテリア 映像 プランニング 等の学生卒業制作 作品約200点を展示	1,494	
熊本大学教育学部美術科同窓会展	3/5～3/10	6	熊本大学教育学部美術科同窓会	第25回日本高校生デザインコンクール作品展 県内外の高校生作品 上位入賞者 入選 佳作 平面 立体作品約200点展示	380	
第28回書初め展書展	3/12～3/17	6	国際文化交流会	2尺×8尺(額) 半切(軸軸及び額) 半紙(額) 折軸 巻子 約80点	251	
第31回朱土会日本画展	3/12～3/17	6	朱土会	油彩 水彩 ペン画 写真などの平面作品や、各種粘土を使用した立体作品約10点の展示	625	
並美塾写真展	3/19～3/24	6	並美塾	油彩画100号～小作品まで約60点(12名×5点)	625	
熊日研城卒寿記念展	3/19～3/24	6	日本習字教育財団	油彩画などの絵画(約20点) 人物などモチーフとした彫刻(約10点) デザイン(3点) 美術教育、美術理論に関する研究論文の発表(0点)	461	
				油彩画などの絵画(約20点) 人物などをモチーフとした彫刻(約10点) デザイン(約3点) 工芸(約7点) 美術教育理論に関する研究論文の発表(約1点)	416	
				絵画 彫刻 工芸	550	
				1月6日青年会館ホールで行われた書初め会の作品を軸にして展示	176	
				日本画(動物 植物 風景 人物)を約30点展示	692	
				風景 人物 デザイン ジェンタルにちかわれない写真の展示	909	
				卒寿記念色紙展900点(直筆) 1・2・3・4文字 漢詩 百人一首 人生訓 誄 等	387	

全日写真連 熊本県写真展	3/19 ~ 3/24	6	全日本写真連 熊本県本部	全日写真連 熊本県写真展 入賞入選作品 全数約65点 日本の自然写真コンテスト入賞作品 山形町写真コンテスト入賞作品28点	1,010
千紳会第12回「心豊かに趣味の水墨画展」	3/26 ~ 3/31	6	千紳会	千紳会会員の水墨画展覧会 約80人分100点の展示	960
熊本県ろう者写真倶楽部創立10周年記念写真展	3/26 ~ 3/31	6	熊本県ろう者写真倶楽部	当倶楽部は一般財団法人熊本県ろう者福祉協会主催の「障壁障害者向けの写真撮影の受講者たちが集まったこときっかけで平成20年9月27日に熊本県ろう者写真倶楽部を創立し本年度で創立10周年を迎える。これまで「風景写真 動物の写真 スナップ写真」とそれぞれの拠点を繰らえた作品を展示	445
'18グループ香書作展	3/26 ~ 3/31	6	グループ香	「瀬石生誕140周年」ともなると「熊本」の瀬石というタイトルで①熊本の作品をベースにした書作品と②版命をベースにした自由な書作品を創 細 かなの 風冊 巻子 屏風等で展示	658
合 計		307			71,083
		624			153,323

# 分館(ギャラリー) 貸会場事業報告及び観覧者状況

展覧会名	開催日	主催者	内容	観覧者数	観覧料
第3回異種作品展	4/3～4/8	6 異種作品展	写真 木工品 ペン画 油絵 水彩 書 その他約40点	982	
第17回春風書作展	4/10～4/15	6 春風書作会	書道作品 漢字 臨書、創作 仮名 臨書、創作 近代詩文書 創作	348	
RKKカルチャーセンター絵画作品展	4/17～4/22	6 RKKカルチャーセンター	F4～F50の油彩・水彩画作品約60点の展示	984	
木村敏郎展	4/24～4/30	7 木村敏郎	初期から近作の油彩1号～10号約20点	1,290	
「クロッキー」うまかもん展	5/2～5/6	5 アト絵サクモリ&クロッキー会	クロッキー作品約30点	368	
第68回モダンアート展・熊本	5/8～5/13	6 モダンアート協会	第68回モダンアート展(東京都美術館)の巡回展 本展の選取作品(受賞作品)、会員作品および九州在住の作家による観覧会 展示予定作品は絵画75点、彫刻7点、版画13点、写真7点、デザイン13点、スペースアート10点の125点を展示	877	
市川良子日本画展	5/15～5/20	6 市川良子	100号10点 50号10点 小品20点	1,124	
第5回現代熊本支部公募展	5/22～5/27	6 一般社団法人現代熊本支部	県内より油彩、水彩、その他絵画を一般公募する 作品規格は10号より30号までとする。その入選作品約60点を展示	1,847	
第24回熊日日本画教室展	5/29～6/3	6 熊日日本画教室	会員制作の日本画F4号～F80号約30点展示	970	
第11回石交会墨のアート展併設字手紙展	6/5～6/10	6 石交会	漢字 調和体 一字書 仮名 字手紙	790	
アート雅会員作品展「花と光のアスタ」	6/12～6/17	6 アート雅	ガラスアート作品 シルエットアート作品 タイルオブジェ作品 タルコンボジシング作品 メタルオブジェ作品 プラントアート作品	855	
写田あけぼの会第44回写真展「野の花」と「風景」	6/19～6/24	6 写田あけぼの会	野山に自生する「野の花」の接写を四つ組額入りにて約30点展示、「風景」写真を全紙額入りにて約20点展示	704	
花の会「くまもと」写真展	6/26～7/1	6 花の会「くまもと」	全紙写真の額入展示で約60点 身近な花から旅行撮影の花まで昨今、テーマを花のみでなく花のある風景まで広めて展示	960	
仏画へのいさな・草綱と彩色展	7/3～7/8	6 仏画 清水・白山教室	白描15～16点 緋紙金泥15～16点 彩色20点(うちお軸10点)	804	
創立85周年記念 第81回鎮光展	7/10～7/16	7 鎮光会	鎮光会会員 会長の作品 公募展として一般の作品(入選作品のみ) 油彩、水彩の具象絵画を基盤とし、熊本で最古の公募展で約240点個性的創造的な作品展示	1,885	一般 300円 大学生 200円 高校生以下無料
一般社団法人二科会写真部熊本支部会員・会友展	7/18～7/22	5 一般社団法人二科会写真部 熊本支部	全紙プリント約60点を展示	907	
第8回岩本武士(竹田)書作展	7/24～7/29	6 岩本武士	漢字 調和体 刻字 書画作品など約40点	672	
田内研水・田内康敬二人展	7/31～8/5	6 田内康敬	F130号～SMまで約40点の水彩画(7クリル画)を展示	820	
第48回同光会書展	8/7～8/12	6 同光会	書作品約40点を展示 漢字 仮名 漢字仮名交じり 少字数などの作品を額 ハネル 軸などに表装して展示	535	
第31回GROUP-愚-作品展	8/14～8/19	6 GROUP-愚-	書作品約20点展示	473	
第40回熊本県書道展	8/21～8/26	6 熊本県書道文化振興会	「書道展」書道の研究者、愛好者間の融和をはかり熊本書壇の水戸向上と底辺の拡充を目的とした書道展	732	
第23回キャンパンプオブクラブ熊本写真展	8/28～9/2	6 キャンパンプオブクラブ熊本	半切額装50点 全紙額装10点 全信10点	1,170	一般・大学生 600円 高校生以下無料
第32回日洋展九州・熊本会場	9/4～9/9	6 日洋会熊本支部	油絵 水彩画 版画 ペン画 大作150号も含め約120点を展示 内容は具象的な表現に基づき制作した作品	1,069	
第10回バソコン・アート展	9/11～9/17	7 熊本バソコン・アート倶楽部	家庭用のパソコンを使った手法で水彩画や淡彩風画な絵を作成 昔世絵や季節をテーマにした風景画を展示 ①額入りA1サイズ20点 ②額入りA2サイズ20点 ③額入りA3サイズ20点	458	
第84回東光展(熊本会場)	9/19～9/24	6 東光会熊本支部	大作(130号以下)約130点 小品(10号以下)約20点	1,977	一般 500円 大学生以下無料
第73回熊本県美術協会展(県美展)	9/26～9/30	5 熊本県美術協会	日本画 彫刻 版画 工芸 デザインを全館に展示 主にIF・ギブリーはデザイン・工芸、2Fは日本画・版画、4Fは彫刻・日本画という構成で展示	920	一般・大学生500円 高校生以下無料
白峰に魅せられて	10/2～10/8	7 陣住英雄	ネバール・ヒルマフオトキョウ写真 A3～A3ノビ 15点 全紙30～33点	1,156	
写真研究会無名塾・デジタル教室フォト光影	10/10～10/14	5 写真研究会無名塾・デジタル教室フォト光影	写真…全紙大12点 A3ノビ24点 絵画…全紙大額装15点	1,061	
第53回熊本県水彩画会展	10/16～10/21	6 熊本県水彩画会	水彩画の展示 (本展部門)約210点	1,709	一般 300円 大学生 200円 高校生以下無料
回顧展「氣ままな絵画」	10/23～10/28	6 清成勝人	油彩40点 デッサン・クロッキー10点 墨彩画20点 レンダリング3点 水彩2点	1,230	
第13回熊本県高等学校美術展 第20回熊本県高等学校写生大会優秀作品展	10/30～11/4	6 熊本県高等学校文化連盟美術部	油彩 水彩 日本画 デザイン 彫刻 立体など 200点	929	
第15回学生学童書道展	11/6～11/11	6 国際文化交流会	熊本の学生学童の書作品	908	
書芸院創立30周年記念作品展	11/13～11/18	6 株式会社書芸院	全国の成人会員から出品される作品展 漢字 かな ペン 水墨画 調和体 形態は軸 額	825	

くまもと障がい者芸術展	11/20～11/25	6	くまもとハートウオーク実行委員会	障がい者が製作した絵画・書・陶芸・工芸等の作品に日々の活動や作品に込めた思いを記したコメントを添えて展示	1,780
くまもと「描く力」2018-熊日美術公募展-	11/27～12/9	12	熊本日新聞社事業局	県内在住者や県出身者を対象とした美術公募展 入賞・入選の作品約150点を展示	2,280
第54回熊本県高等学校書道展	12/11～12/16	6	熊本県高等学校文化連盟書道専門部	県内高校生の作品約250点を展示 本書道展の審査で最優秀賞に選ばれた6点は次年度全国高校総文祭の熊本県代表に推薦される また夏に実施した県高校種差大会の上位作品も展示	632
平成30年度いちちよの会	12/18～12/24	7	いちちよの会	会員(県庁退職者絵画同好会)11名の油彩 水彩 アクリル画 俳画等 小品から大作までの作品の展示	722
第2回玄米全国書道展	1/8～1/14	7	玄米書道会	・日展会友 入選作家・玄米成家 師範他・展示作品の種類 2×8尺(額) 全紙(軸) 半切(軸) 小作品(軸)	913
岩田恒介・二子石義之二人展	1/16～1/20	5	二子石義之	半立体造形20点 キャンバスとパネル20点(ドローイング)	751
ニッコールクラブ熊本支部写真展	1/22～1/27	6	ニッコールクラブ熊本支部	支部写真展(約60点)	1,014
熊本デジカメ倶楽部写真作品展	1/29～2/3	6	熊本デジカメ倶楽部	熊本デジカメ倶楽部会員13名が撮影した風景や祭り、ポートレート等いろいろなジャンルの写真	1,265
中川道代「デザイン書道の伝える力」	2/5～2/11	7	中川道代	①パッケージデザインや店舗名等依頼を受けて制作 すでに社会の中で使用されている作品でデザイン・書道の文字と実物の写真を添えてパネル展示②部屋や空き間に合わせた書作品をひとつのインテリアとしてとらえたインテリア書1の創作作品を展示	672
フライデークラブ 絵画展	2/13～2/17	5	フライデークラブ絵画講座	熊本市ふれあい文化センター絵画教室で制作した水彩画作品18～120を約50点展示	527
中村恵美子水彩画展	2/19～2/24	6	中村恵美子	水彩画作品100号～16号までを約30点展示	1,138
齋藤加奈卒業書作展	2/26～3/3	6	齋藤加奈	書道作品 臨書 楷書1、行草2点、隷書1点、木簡1点 仮名(卓上)1点 創作 楷書1点、行草1点、隷書1点、漢字仮名交じり2点、刻字(木材)1点	449
熊本大学教育学部美術科同窓会展	3/5～3/10	6	熊本大学教育学部美術科同窓会	絵画 彫刻 工芸	460
第39回真美展	3/12～3/17	6	真美会	油彩大作を含め約30点	660
オールサンデーメイズクラブ三人展(詩画、バステル画、アクリル水彩画)	3/19～3/24	6	洲崎英児	洲崎英児 バステル画12点 橋本寛 詩画18点 村上徹治 アクリル水彩画10点	490
清和小型条幅書初展	3/26～3/31	6	清和書道会	半切1/4による書初展 幼児から一般まで600点	401
計		301			46,493
<b>分館(展示室1・2・3 ギャラリー) 合計</b>					
		925			199,816
<b>本館・分館 総合計</b>					
		801			214,023

# ■収蔵品の概要

## 熊本県立美術館の収集方針・収集計画

熊本県立美術館は、古今東西の美術品等の展示・収集・保存・研究等を目的に設置された総合美術館として、(1)日本及び東洋の古美術、(2)日本の近・現代美術、(3)西洋美術についての収集を、次の各項目の方針等に基づいてすすめる。

収集にあたっては、①散逸あるいは滅失の危険のある、熊本県内の美術品・文化財等の収集及び保存、②本県出身あるいは本県ゆかりの作家等の作品など、熊本県の美術史の流れを展望するための美術品の収集、③世界的な視野で美術の流れを広く展望することのできる作品の収集について、特に留意するものとする。

### 1 日本および東洋の古美術

古代から近世に至る熊本の美術・文化・歴史の流れを展望できるコレクションの形成を目指す。

#### (1) 古代・中世の熊本にゆかりのある美術品

- ① 彫刻(仏神像など)
- ② 絵画(仏画など)
- ③ 工芸品(染織品や能道具、刀剣など)
- ④ 書蹟・墨蹟

#### (2) 近世の熊本にゆかりのある美術品

- ① 絵画(御用絵師や文人などの作品)
- ② 工芸品(八代焼・小代焼などの陶磁器、刀剣や刀装具などの金工品、漆芸品、皮革・染織品など)
- ③ 書蹟・墨蹟
- ④ 加藤家・細川家ゆかりの美術品や資料

#### (3) 熊本の美術・文化・歴史に影響を与えた作家・人物・地域にゆかりの美術品や資料

#### (4) 熊本の美術・文化・歴史の展開を鑑賞・検証するために有効な資料

### 2 日本の近・現代美術

本県を代表する作家の作品を核に、日本の近・現代美術史を体系づけるコレクションおよび熊本美術史を体系化するコレクションの形成を目指す。

#### (1) 熊本ゆかりの作家による近・現代洋画・日本画・版画・工芸・彫刻・デザイン・写真等の作品や資料

※なお、本県を代表する作家に関しては、デッサン・スケッチブック・書簡などの資料に関しても「研究資料」として積極的に収集を行うものとする。

※浜田知明作品に関しては、全作品の収集を目指す。

#### (2) 熊本を代表する近・現代作家に大きな影響を与えた作家の作品

#### (3) 近・現代美術史に大きな足跡をのこした作家による作品

- (4) 当館における既存のコレクションを拡充・補完する上で必要な作品や資料
  - ① 今西コレクションの近代版画・工芸・人形
  - ② 細川コレクションの近代洋画・日本画
  - ③ その他一括して収集されたコレクション
- (5) 日本の近・現代版画
  - ① 近代版画の動向を示す作品
  - ② 戦後美術の版画表現に重要な足跡を残した版画家の作品
  - ③ 今日の美術における版画表現の動向を示す作品
  - ④ 上記の作品に関連する資料

### 3 西洋美術

フランスの近代絵画、西洋版画(古典～近代～現代)、近・現代彫刻の作品を核に、西洋美術コレクションの体系化を目指す。

- (1) フランスの近代絵画
  - ① 印象派と19世紀フランス絵画  
印象派やその周辺、アカデミー派(サロン派)など、19世紀フランス絵画の局面を紹介する作品収集を図り、ルノワール等の所蔵品を補完する作品
  - ② エコール・ド・パリと藤田嗣治(レオナール＝ツグハル・フジタ)  
エコール・ド・パリやその周辺の動向など、20世紀前半のフランスを舞台に活動した芸術家たちの系譜と交流の軌跡を辿る作品。特に本県とゆかりの深い藤田嗣治(レオナール＝ツグハル・フジタ)は重点的収集を目指す。
- (2) 西洋版画の系譜の体系化
  - ① 16世紀から18世紀までの古典版画(Old Master Print)
  - ② 19世紀から20世紀前半までの近代版画(Modern Print)
  - ③ 20世紀後半以降の現代の版画動向を示す作品(Contemporary Print)
- (3) 近・現代の西洋彫刻
  - ① 近代フランスの彫刻  
ロダン以降の近代彫刻史に大きな足跡を残した彫刻家の作品
  - ② 現代の彫刻  
20世紀後半以降の現代彫刻の動向を展望することのできる作品
- (4) 上記の項目に関連の深い優れた西洋美術の作品や資料

### 4 優れた質と内容を有し、纏まった形で収集されたコレクション

# □平成 30 年度美術品収集品目

## ■購入作品（平成 30 年度）

	作品名	作者名	種別	寸法(cm)	制作年
1	夏の省線ホーム	野田英夫	油彩・キャンバス	50.2×60.5	昭和 13 年 (1938)

## ■寄贈作品（平成 30 年度）

	作品名	作者名	種別	寸法(cm)	制作年
1	パリの街	野田英夫	水彩・紙	37.1×90.6	昭和 13 年 (1938)
2	ニューヨーク	野田英夫	水彩・鉛筆・紙	19.4×15.7	1936 年
3	説話図屏風	山中神風	紙本着色・屏風装	(各)172.8×171.	大正時代カ (20 世紀)
4	スクラップブック No. 1~4	佐々木耕成	スクラップブック・写真	No. 1:36.2×27.2 No. 2:36.3×27.5 No. 3:36.4×27.5 No. 4:30.8×22.5	昭和 28~42 年 (1953~1967)
5	無題	佐々木耕成	合成塗料・白布・木製パネル	183.0×276.5	平成 29 年 (2017)
6	無題 (1)	山口長男	水彩・紙	37.9×26.7	昭和 45~55 年頃 (1970s)
7	無題 (2)	山口長男	水彩・紙	37.7×27.0	昭和 45~55 年頃 (1970s)
8	無題 (3)	山口長男	水彩・紙	37.9×26.7	昭和 45~55 年頃 (1970s)
9	無題 (4)	山口長男	水彩・紙	38.2×26.9	昭和 45~55 年頃 (1970s)
10	無題 (5)	山口長男	紙本墨画・掛幅装	52.1×32.9	昭和 45~55 年頃 (1970s)
11	浜田知明遺品資料 (計 86 件)	浜田知明他	各種		



■収蔵品の概要

■ 収蔵品一覧表 (平成29年度末・平成30年3月末現在)

区分	県有美術品										基金財産		寄託品		合計		
	購入		寄贈		保管転換		小計		H28年度	H29年度	H28年度	H29年度	H28年度	H29年度	H28年度	H29年度	
	H28年度	H29年度	H28年度	H29年度	H28年度	H29年度	H28年度	H29年度									
日本 古美術	絵画	167	300	300			467		13	13	266	266	746	746			
	書跡	182	388	388			570		17	17	158	158	745	745			
	彫刻		1	1			1				28	28	29	29			
	工芸(陶磁)	79	94	94			173		4	4	20	20	197	197			
	工芸(他1)		2	2			2						2	2			
	工芸(他2)	6	234	234			240		1	1	704	704	945	945			
	考古										9	9	9	9			
	その他										6	6	6	6			
	計	434	1,019	1,019			1,453		35	35	1,191	1,191	2,679	2,679			
	油彩画	72	420	421	6		6	498	2	35	35	16	16	549	551	2	2
版画	113	738	744			851	6	17	17	4	4	872	878	6	6		
デッサン	38	292	292			330		2	2	4	4	336	336				
彫刻	38	32	32			70		31	31	4	4	105	105				
工芸	83	114	114			197		23	23	1	1	221	221				
日本画	160	161	162	1		321	1	17	17	17	17	355	356	1	1		
水彩画・その他	13	18	108	90		31	90	3	3	3	6	6	40	130	90	90	
計	517	1,775	1,873	6		6	2,298	99	128	128	52	52	2,478	2,577	99	99	
東洋	絵画	10	1	1			11				1	1	12	12			
	書跡	2	2	2			4						4	4			
	彫刻		1	1			1				1	1	2	2			
	工芸(陶)		7	7			7						7	7			
	工芸(他)	12	5	5			17						17	17			
	考古		110	110			110						110	110			
	その他		4	4			4						4	4			
	計	24	130	130			154					2	2	156	156		
	油彩画	5	3	3			8		6	6	3	3	17	17			
	版画	138	100	101	1		238	1	11	11			249	250	1	1	
デッサン	1	1	1			2		2	2			4	4				
彫刻	8					8						8	8				
水彩画・その他	3	5	5			8		2	2			10	10				
計	155	109	110	1		264	1	21	21	3	3	288	289	1	1		
美術資料		182	182			182		2	2			184	184				
合計	1,130	1	1,131	3,215	99	3,314	6	4,351	100	100	1,248	1,248	5,785	5,885	100	100	

## □平成30年度美術品貸出記録(館蔵品)

※平成30年度中に他館に貸し出し、平成31/令和元年度に展示された美術品を含む。なお、本リストに寄託品は含まれない。

作家名	作品名	貸出先	展覧会名	展覧会会期
山口輝也	びん	山口輝也	「山口輝也作品展」	H30 4/24～5/6
	象			
	黄の立像			
	子供の像			
	像			
	屋(空と水)			
作者不詳	美人観月図	茨城県近代美術館 天心記念五浦分館	「熊本県立美術館所蔵 今西コレクション 肉筆浮世絵名品展」	H30 4/28～6/10
作者不詳	猫と男女図			
無款 (菱川派)	遊船図			
無款 (菱川派)	対鏡六美人図			
無款 (菱川派)	髪結い図			
西川祐信	大黒揚屋入り図			
田村水鷗	梅軒翫書図			
鳥居清重	佐野川市松立姿図			
近藤勝信	遊女と禿			
作者不詳	浮絵座敷水遊び図			
無款 (懷月堂派)	美人歩行図			
無款 (懷月堂派)	立姿美人図			
竹田春信	蚊帳脇美人図			
梅祐軒勝信	立姿美人図			
上柿芳龍	追羽根美人図			
宮川長春	振り返る遊女図			
宮川一笑	雪中男女図			
川又常行	望嶽一顰図			
川又常行	縁先納涼美人図			
川又常正	節分図			
磯田湖龍齋	插花美人図			
磯田湖龍齋	鯉魚図			

高嵩谷	風流四睡図	茨城県近代美術館 天心記念五浦分館	「熊本県立美術館所蔵 今西コ レクション 肉筆浮世絵名品展」	H30 4/28～6/10
鳥山石燕	旭日猿図			
石川豊信	萬歳図			
勝川春章	桜下花魁道中図			
勝川春好	五代目市川団十郎 景清図			
勝川春亭	懐紙をもつ芸妓図			
喜多川藤麿	母子採芒図			
喜多川(墨亭)月	楼上芸妓図			
恋川春政	懐紙を持つ芸妓			
保明 (喜多川派)	三曲図			
歌川豊春	朱衣見立達磨図			
歌川豊春	帰り路図			
歌川豊広	謡曲隅田川図			
歌川豊国	松本幸四郎仁木弾 正図			
歌川豊国	遠目鏡美人図			
窪俊満	首尾の松美人図			
鳥文斎栄之	桜下美人逍遙図			
鳥文斎栄之	鶏図			
玄珠斎栄暁	時鳥と芸妓図			
高尾蕉鹿	花魁立姿図			
礪川亭永梨 (永理)	頭巾美人図			
豊川栄深	見立女三ノ宮図			
長谷川雪旦	隅田川団十郎舟遊 びの図			
北尾政寅 (山東京伝)	夕月時鳥図			
式亭三馬	三味線を持つ芸妓 図			
十返舎一九	行列奴図			
月岡雪鼎	牽牛織女図			
葛飾北斎	鍾馗図			
歌川国芳	鐘馗図			
葛飾北斎	提灯と花魁図			
菱川宗理	雪中美人図			

紫光齋北一	雨乞い小町図	茨城県近代美術館 天心記念五浦分館	「熊本県立美術館所蔵 今西コ レクション 肉筆浮世絵名品展」	H30 4/28～6/10
魚屋北溪	新春富岳図			
蹄齋北馬	橋上群衆図(両国橋 の花美見物)			
蹄齋北馬	仲の町桜時美人図			
龍齋逸馬	美人更衣図			
東南西北雲 (北雲載賀)	妓楼花魁図			
天香豊	南蛮人図			
八島岳亭	女三ノ宮図			
歌川国芳	二枚櫛花魁立姿図			
歌川国久	文読み美人図			
歌川国直	芸妓と箱回しの図			
歌川国継	義経と弁慶図			
鳥羽広丸	夏姿二美人図			
歌川広重	立美人図			
歌川広重	屋根船の芸妓図			
菊川英山	桜下芸妓図			
菊川英山	花魁書見図			
溪齋英泉	花魁と禿図			
祇園井特	三味線美人図			
石田玉山	美人目隠し達磨図			
松好齋	美人観月図			
春好齋北州	芝翫舞台姿図			
三島上龍	犬と美人図			
森玉僊	醉余美人図			
歌川芳輝	神功皇后と武内宿称 図 双幅			
河鍋暁斎	閻魔庁図 双幅			
河鍋暁斎	牛若丸図			
小林清親	化粧美人図			
四代鳥居清忠	吉右衛門団七九郎 兵衛図			
小林永濯	草摺引き図			
歌川芳秀	海辺茶店図			

歌川国峰	潮干狩図 双幅	茨城県近代美術館 天心記念五浦分館	「熊本県立美術館所蔵 今西コ レクション 肉筆浮世絵名品展」	H30 4/28～6/10
豊原国周	内藤政挙肖像図 ま さたか			
二代長谷川貞信	船上美人図			
三代長谷川小信	歌舞伎鳴神図			
鐔木清方	滝見茶屋図			
伊東深水	月夜図			
藤田嗣治 (レオナルド＝ ツグハル・フジ タ)	ヴァイオリンを持つ 子ども カフェ	東京都美術館 京都国立近代美術館	「没後50年 藤田嗣治展」	H30 10/19～12/16
野田英夫	年末街頭	宇城市不知火美術館	「Exile Dream of Hope 国吉康雄と野田英夫」	H31 1/5～2/3
	内田伯肖像			
	男			
	麦刈り			
	都会の冬			
	ムーヴィングマンの 習作			
	風景			
	春			
	画廊にて			
	風景			
	男			
	壁画エスキース			
	壁画エスキース			
	マネキン			
	車内二人			
	裸婦			
	タクシー乗り場			
	女の横顔			
	三人・顔			
男				
交換手				
風景				

高津明美	ひのくに	肥後の里山ギャラリー	「熊本の現代作家展Ⅳ 高津明美展-火の国を染めて-」	H31 2/25～4/6
河鍋暁斎	牛若丸図	兵庫県立美術館	「没後130年 河鍋暁斎展」	H31 4/6～R1 5/19
	閻魔庁図			